

# 年表

## 凡例

1. 年表には、当社の創業から2021年に至る社内外の事項のうち、1997年(100年史編纂時)以降の事項を中心に「当世事項」と「一般事項」に分けて収録した。
2. 合併会社については、特に参考となる事項を選んで記事の初めに( )書きで略社名を付して収録した。  
(川車)=川崎車輛、(川航)=川崎航空機工業
3. 収録に当たっては、法人の場合、会社設立時等を除き法人格の表記は省略させていただき、個人の場合は、敬称を省略させていただいた。
4. 「当世事項」および「一般事項」ともに日が不明の場合は「-」をもって示し、月日が不明の場合は「-.-」を付して当該年の終わりに一括して収録した。
5. 日付は、1872(明治5)年までは旧暦によった。

当社事項	一般事項
<b>1837[天保8]年</b> 7.10 ・当社の創業者 川崎正蔵、鹿児島城下大黒町に誕生	一.一 ・アメリカ船、鹿児島に来航
<b>1878[明治11]年</b> 4.一 ・川崎正蔵、東京築地南飯田町の官有地を借受け、川崎築地造船所を設立(当社の創業)	6.1 ・東京株式取引所開業 8.15 ・大阪株式取引所開業
<b>1881[明治14]年</b> 3.一 ・川崎正蔵、兵庫・東出町に川崎兵庫造船所を開設(資本金10万円)	10.9 ・松方大蔵卿、不換紙幣の整理に着手
<b>1886[明治19]年</b> 5.19 ・川崎正蔵、兵庫造船所に川崎兵庫造船所を移転併し、川崎造船所と改称して発足 5.20 ・川崎造船所発足後の第1船、大阪商船の貨客船「吉野川丸」(401GT)進水(官営造船所からの引継船で2段膨張機関およびスコッチボイラの各第1番機を装備) 9.一 ・東京の川崎築地造船所を神戸へ移転・集約	1.4 ・日本銀行、不換紙幣の正貨(銀貨)兌換開始
<b>1896[明治29]年</b> 10.15 ・(株)川崎造船所創立(資本金200万円、初代社長 松方幸次郎、顧問 川崎正蔵)	3.23 ・航海奨励法・造船奨励法公布(10.1施行) 4.7 ・船舶検査法公布(1897.7.1施行)
<b>1897[明治30]年</b> 10.28 ・伊豫汽船の貨客船「伊豫丸」(727GT)進水(わが国における造船奨励法適用第1船)	6.1 ・官営八幡製鉄所開庁
<b>1902[明治35]年</b> 11.一 ・第1乾ドック(長さ130m、幅15.7m、深さ5.5m、許容能力6,000GT)竣工	7.16 ・呉海軍造船廠3,000人スト
<b>1905[明治38]年</b> 5.一 ・第1船台(長さ162.45m、幅7.30m、建造能力7,000GT)竣工	5.27 ・日本海海戦(海軍記念日)
<b>1906[明治39]年</b> 4.5 ・国産初の潜水艇「第6」[第7]引渡し 6.一 ・第2船台(長さ176.47m、幅9.75m、建造能力9,000GT)竣工 9.一 ・神戸市東尻池村の土地8万8,340㎡を買収し、運河分工場を開設	3.15 ・戦艦「安芸」起工(カーチス式タービンを装備したわが国初の軍艦) 3.31 ・鉄道国有法公布
<b>1907[明治40]年</b> 6.一 ・運河分工場を兵庫分工場と改称、7月から鋳鋼品と車両の製造開始 11.19 ・通報艦「淀」(1,320排水トン)進水(わが国民間造船所での1,000排水トン以上の軍艦建造第1艦)	10.1 ・民営鉄道の国有化完了
<b>1908[明治41]年</b> 4.一 ・第3船台(長さ202.38m、幅14.02m、建造能力18,500GT)竣工 9.一 ・第4船台(長さ238.96m、幅25.60m、建造能力31,000GT)竣工	4.20 ・台湾縦貫鉄道開通
<b>1911[明治44]年</b> 1.一 ・当社初のストックポート貨物船「大運丸」(2,940GT)引渡し 3.一 ・鉄道院向け6700形2B飽和式テンダ機関車を製造(当社製第1号機関車で専用ボイラを装備) 7.14 ・ドイツのMAN社とわが国初のMAN型2サイクルディーゼル機関について技術提携(第1次世界大戦のため契約無効となる)	3.29 ・工場法公布(1916.9.1施行) 11.10 ・神戸市立図書館設置

当社事項	一般事項
<p><b>1912[明治45][大正元]年</b></p> <p>11.一 ・第4船台付属ガントリークレーン(建造能力31,500GT)竣工 12.2 ・当社の創業者、顧問 川崎正蔵逝去(享年75歳)</p>	<p>1.1 ・中華民国成立 7.30 ・明治天皇崩御、大正と改元</p>
<p><b>1913[大正2]年</b></p> <p>6.8 ・日本郵船の欧州航路貨客船「鹿島丸」(10,564GT)進水(当社初の1万GT級船) 12.14 ・国産初の巡洋戦艦「榛名」(27,500排水トン)進水</p>	<p>4.23 ・帝国飛行協会設立</p>
<p><b>1915[大正4]年</b></p> <p>一.一 ・第5船台(長さ179.83m、幅9.14m、建造能力10,500GT)竣工</p>	<p>10.1 ・海軍艦政本部廃止、海軍技術本部・海軍艦政部署設置</p>
<p><b>1916[大正5]年</b></p> <p>6.一 ・第6船台(長さ140.20m、幅6.40m、建造能力4,500GT)竣工</p>	<p>9.1 ・工場法施行(1911.3.29公布)</p>
<p><b>1917[大正6]年</b></p> <p>2.20 ・松方社長、ロンドンでストックポート12隻の売渡契約を締結</p>	<p>7.25 ・製鉄業奨励法公布(9.1施行)</p>
<p><b>1918[大正7]年</b></p> <p>7.一 ・造船用鋼材自給のため、神戸市脇浜に暮合工場を開設、鋼板(中・厚)の製造開始 7.一 ・兵庫工場に自動車科および飛行機科を設置 11.6 ・ストックポート貨物船「来福丸」(5,857GT)完工、短期建造の世界記録を樹立(起工後30日で完工)</p>	<p>9.30 ・造船奨励法廃止 11.11 ・第1次世界大戦休戦条約成立</p>
<p><b>1919[大正8]年</b></p> <p>4.10 ・川崎汽船(株)設立(資本金2,000万円、初代社長 川崎芳太郎) 7.一 ・陸軍からサルムソン2A-2型偵察機2機の試作を受注 9.18 ・労働争議起こる、参加人員16,000人(わが国初のサボタージュ戦術採用) 10.1 ・わが国初の8時間労働制実施</p>	<p>3.1 ・朝鮮独立運動 6.28 ・ベルサイユ講和条約成立</p>
<p><b>1921[大正10]年</b></p> <p>7.2 ・川崎・三菱大争議発生</p>	<p>3.9 ・船舶満載吃水線法公布(1922.2.1施行) 4.11 ・メートル法採用(1924.7.1実施)</p>
<p><b>1922[大正11]年</b></p> <p>9.7 ・兵庫工場から自動車・飛行機科を分離し、本社直属の飛行機部および飛行機部各務ケ原分工場を設置 11.9 ・サルムソン式2A-2型偵察機、各務ケ原陸軍飛行場にて初飛行(陸軍、制式乙式1型偵察機として採用)</p>	<p>2.6 ・ワシントン海軍軍備制限条約調印(英・米・日、5:5:3の比率)、日本海軍八・八艦隊案廃止</p>
<p><b>1923[大正12]年</b></p> <p>8.21 ・二等潜水艦「第70」、淡路仮屋沖にて潜航試運転中に沈没(殉職者海軍側46人、当社側42人、計88人)</p>	<p>9.1 ・関東大震災</p>
<p><b>1927[昭和2]年</b></p> <p>4.21 ・金融恐慌により主要取引銀行の十五銀行が臨時休業し、当社経営危機 7.23 ・従業員第1次整理として工具3,037人整理</p>	<p>3.15 ・東京渡辺銀行・あかぢ貯蓄銀行など休業し、金融恐慌全国に波及 12.30 ・東京地下鉄(上野・浅草間)開通(わが国初の地下鉄)</p>

当回事項	一般事項
<p><b>1928[昭和3]年</b></p> <p>5.18 ・兵庫工場を分離、川崎車輛(株)設立(資本金1,200万円、初代社長 鹿島房次郎)</p> <p>5.26 ・社長 松方幸次郎辞任、鹿島房次郎、2代社長に就任</p>	<p>4.10 ・日本商工会議所設立</p>
<p><b>1931[昭和6]年</b></p> <p>6.10 ・第2次整理として工具2,980人整理</p> <p>7.20 ・神戸区裁判所へ和議開始を申立て</p> <p>7.29 ・大口債権者会議開催</p>	<p>4.1 ・重要産業統制法公布(8.11施行)</p> <p>9.18 ・満州事変勃発</p> <p>11.12 ・造船懇話会を改組、造船連合会設立</p>
<p><b>1932[昭和7]年</b></p> <p>7.29 ・2代社長 鹿島房次郎逝去(享年63歳)、専務取締役 石井清、社長代理に就任</p> <p>10.28 ・債権者集会にて和議条件可決、即日認可</p> <p>11.22 ・和議認可決定</p> <p>一.一 ・(川車)自動車工場を再建し、「六甲号」の名称でトラック・バスの生産開始(KT15形1.5t積貨物自動車を初めて市場に出す)</p>	<p>1.28 ・上海事変勃発</p> <p>5.15 ・五・一五事件勃発</p> <p>9.26 ・船舶改善協会設立</p> <p>10.1 ・第1次船舶改善助成施設実施</p>
<p><b>1933[昭和8]年</b></p> <p>3.24 ・平生夙三郎、3代社長に就任</p>	<p>3.15 ・船舶安全法公布(1934.3.1施行)</p>
<p><b>1934[昭和9]年</b></p> <p>8.16 ・(川車)満鉄のパシナ形流線型蒸気機関車を製造[新京(現・長春)・大連間の超特急「あじあ号」けん引用]</p> <p>9.1 ・55歳定年制を実施</p>	<p>12.29 ・政府、ワシントン海軍軍縮条約の破棄を通告</p>
<p><b>1935[昭和10]年</b></p> <p>12.23 ・取締役会長制の実施により、社長 平生夙三郎、会長に就任、専務取締役 鑄谷正輔、4代社長に就任</p>	<p>4.1 ・第2次船舶改善助成施設実施</p>
<p><b>1936[昭和11]年</b></p> <p>1.6 ・川崎病院開院(初代院長 松岡金二)</p> <p>3.25 ・会長 平生夙三郎、文部大臣就任のため辞任、社長 鑄谷正輔、会長に就任(社長兼任)</p> <p>4.1 ・川崎東山学校(青年学校令に準拠)開校(初代校長 吉岡保貞)</p> <p>10.31 ・第7船台(長さ179.83m、幅10.97m、建造能力13,500GT)竣工</p>	<p>2.26 ・二・二六事件勃発</p> <p>5.28 ・重要産業統制法改正公布(8.1施行)</p> <p>6.1 ・第3次船舶改善助成施設実施</p>
<p><b>1937[昭和12]年</b></p> <p>9.15 ・神戸の飛行機機体工場を岐阜の各務ヶ原工場へ移転</p> <p>11.18 ・飛行機工場を分離し、川崎航空機工業(株)を設立(資本金5,000万円、初代社長 鑄谷正輔)</p>	<p>7.7 ・日中戦争勃発</p> <p>8.13 ・製鉄事業法公布(9.22施行)</p>
<p><b>1939[昭和14]年</b></p> <p>12.1 ・「川崎重工業株式会社」と社名変更</p>	<p>4.5 ・造船事業法公布(9月施行)</p> <p>9.3 ・第2次世界大戦(イギリス・フランス、ドイツに宣戦布告)</p>
<p><b>1940[昭和15]年</b></p> <p>9.25 ・(川航)明石に新工場を開設</p>	<p>7.1 ・造船連合会、造船組合連合会と改称</p>
<p><b>1941[昭和16]年</b></p> <p>10.21 ・西宮市に製鉄工場特殊鋼工場を開設、特殊鋼の製造開始</p>	<p>12.8 ・日本、アメリカ・イギリスに宣戦布告(太平洋戦争)</p>

当社事項	一般事項
<p><b>1942[昭和17]年</b></p> <p>5.1 ・海軍の委託により、ジャカルタに造船工場(第102海軍工作部ジャカルタ分工場)を開設</p> <p>8.一 ・(川航)3式戦闘機「飛燕」の量産初号機完成</p> <p>10.28 ・泉州工場を開設</p>	<p>1.28 ・造船統制会設立</p> <p>4.1 ・船舶運営会設立</p> <p>7.1 ・関門トンネル開通</p>
<p><b>1943[昭和18]年</b></p> <p>4.12 ・本社を神戸市神戸区(現・中央区)明石町へ移転</p>	<p>10.3 ・軍需会社法公布(12.21施行)</p> <p>10.15 ・統制会社令公布(10.18施行)</p>
<p><b>1944[昭和19]年</b></p> <p>4.1 ・(川航)宮崎県・都城工場(土地約237万㎡)にて機体組立を開始</p>	<p>11.24 ・米機(B29)、東京を初空襲</p>
<p><b>1945[昭和20]年</b></p> <p>3.17 ・米機神戸空襲により、艦船工場被害甚大(損害90棟・延72,151㎡に被爆、15寮舎を焼失)</p> <p>6.5 ・米機神戸空襲(第2次)により、本社(三宮)のほか工場・倉庫・寮舎など被害大(死亡14人、重傷18人)</p> <p>7.7 ・(川車)明石工場、空爆により壊滅的被害</p> <p>7.7 ・(川航)明石工場・明石兵器工場とも空爆により焼失し操業不能</p> <p>7.24 ・(川車)本社工場、1t爆弾による第4回目の爆撃で被害大</p>	<p>8.15 ・日本無条件降伏、太平洋戦争終結</p> <p>9.2 ・GHQ指令第1号発令(陸海軍解体・全軍需工業停止)</p> <p>11.24 ・制限会社令公布</p> <p>12.22 ・労働組合法公布(1946.3.1施行)</p>
<p><b>1946[昭和21]年</b></p> <p>5.31 ・(川航)川崎産業(株)と社名変更</p> <p>12.7 ・特殊整理委員会令により、持株会社に指定</p> <p>12.24 ・社長 鏑谷正輔辞任(以後、5重役の合議制に)</p>	<p>5.3 ・極東国際軍事裁判開廷(東京)</p> <p>9.1 ・全日本造船労働組合結成</p> <p>11.3 ・新憲法公布(1947.5.3施行)</p>
<p><b>1947[昭和22]年</b></p> <p>6.11 ・(川車)天皇陛下、川崎車輛をご視察(人間天皇として戦後初めての行幸先の巡幸工場に選ばれる)</p>	<p>4.7 ・労働基準法公布(9.1施行)</p>
<p><b>1949[昭和24]年</b></p> <p>4.14 ・第2浮きドック(長さ65.35m、幅上部13.70m、底部13.00m、深さ4.50m、浮揚能力1,200GT)竣工</p> <p>5.一 ・証券取引所開設に伴い、東京・大阪・名古屋・神戸の各証券取引所に株式を上場開始</p>	<p>5.16 ・東京・大阪・名古屋の3証券取引所再開</p> <p>12.10 ・湯川秀樹、ノーベル物理学賞受賞</p>
<p><b>1950[昭和25]年</b></p> <p>8.7 ・決定整備計画により製鉄部門を分離し、川崎製鉄(株)を設立(資本金5億円、初代社長 西山弥太郎)</p> <p>8.7 ・当社は存続会社として新発足(資本金5億6,000万円)、取締役 手塚敏雄、5代社長に就任</p>	<p>3.31 ・船舶運航令公布(4.1施行)</p> <p>6.25 ・朝鮮戦争勃発</p>
<p><b>1951[昭和26]年</b></p> <p>8.10 ・阪神電鉄・甲子園球場の大鉄傘用鉄骨(鋼材320t)を製作</p>	<p>9.8 ・日米安全保障条約調印</p>
<p><b>1952[昭和27]年</b></p> <p>10.6 ・戦後わが国最大のタンカー「PATRICIA」(29,696DWT)進水</p> <p>11.1 ・(川航)アメリカのバル・エアクラフト社とバル47D型ヘリコプタについて技術提携</p>	<p>7.16 ・航空機製造法公布(11.1施行)</p>

当世事項	一般事項
<p><b>1953[昭和28]年</b></p> <p>6.30 ・第3浮きドック(東洋最大、長さ172.80m、幅 上部28.00m、底部27.00m、深中央12.75m、両側13.00m、浮揚能力13,000GT、門型ジブ・クレーン2基付設)竣工</p>	<p>8.1 ・武器等製造法公布</p>
<p><b>1954[昭和29]年</b></p> <p>1.24 ・(川航)わが国初の川崎ベル式47D-1型ヘリコプタ第1号機完成</p> <p>2.1 ・(川航)川崎航空機工業、川崎機械工業・川崎岐阜製作所を吸収合併(資本金8億7,600万円)</p> <p>4.1 ・電機部門合理化のため、岡田浦工場を兵庫の川崎車輻隣接地(旧川崎機械跡)に移転、兵庫電機工場と改称し操業開始</p> <p>11.20 ・防衛庁と戦後初の乙型警備艦「いかづち」の建造契約調印</p>	<p>7.1 ・陸・海・空の自衛隊発足</p> <p>一.一 ・12月から1957年6月まで31カ月に及ぶ大型景気(神武景気)</p>
<p><b>1956[昭和31]年</b></p> <p>1.21 ・(川航)わが国初のT-33Aジェット練習機、公開初飛行</p> <p>8.14 ・防衛庁から戦後初の国産潜水艦「おやしお」を受注</p> <p>10.28 ・天皇・皇后両陛下、本社工場にご来臨</p>	<p>1.1 ・原子力委員会発足</p> <p>12.18 ・国連総会、全会一致で日本の加盟を可決</p> <p>一.一 ・日本の年間船舶建造量、イギリスを抜いて世界第1位</p>
<p><b>1958[昭和33]年</b></p> <p>7.14 ・小型(4サイクル)ディーゼルエンジンの専門工場を開設(現・明石工場内)</p> <p>9.17 ・(川車)国鉄向けわが国初のビジネス特急「こだま号」第1編成8両を製造</p> <p>10.31 ・皇太子殿下、兵庫県産業施設ご視察の一環として本社工場および川崎車輻にご来臨</p>	<p>7.25 ・日本貿易振興会(JETRO)発足</p> <p>12.23 ・東京タワー完工</p> <p>一.一 ・7月から1961年12月まで42カ月に及ぶ大型景気(岩戸景気)</p>
<p><b>1959[昭和34]年</b></p> <p>9.18 ・(川航)P2V-7対潜哨戒機第1号機完成</p> <p>12.21 ・電機部門を分離独立し、川崎電機製造(株)を設立〔資本金5億円、初代社長 手塚敏雄(当社社長兼任)〕</p>	<p>1.23 ・松方コレクション返還の協定調印</p> <p>4.20 ・東海道新幹線着工式</p>
<p><b>1960[昭和35]年</b></p> <p>9.19 ・(川航)二輪車組立工場(24工場)完成</p> <p>12.2 ・油圧機械専門工場完成(現・明石工場内)</p>	<p>11.1 ・経済審議会、新経済計画「国民所得倍増計画」を池田首相に答申(12.27閣議決定)</p>
<p><b>1961[昭和36]年</b></p> <p>11.1 ・事業部制を採用(造船・機械・産業機械・精機・鉄構)</p> <p>12.25 ・社長 手塚敏雄、会長に就任、副社長 砂野仁、6代社長に就任</p>	<p>4.12 ・ソ連、初の有人宇宙船打上げに成功</p> <p>4.18 ・政府、資本取引自由化措置を決定</p>
<p><b>1962[昭和37]年</b></p> <p>2.5 ・加古川工場を開設(鉄構)</p> <p>7.25 ・(川航)川崎バトルKV-107Ⅱ型ヘリコプタ第1号機完成</p> <p>8.1 ・(川車)播州工場を開設(建設機械)</p>	<p>8.30 ・日本航空機製造、YS-11の初飛行に成功(64人乗り双発ターボプロップ・中型旅客機)</p> <p>9.12 ・日本原子力研究所国産1号炉(JRR-3)初臨界</p>
<p><b>1963[昭和38]年</b></p> <p>2.16 ・ニューヨーク事務所およびロンドン事務所を開設</p> <p>11.1 ・パッケージボイラ工場を開設(加古川工場内)</p>	<p>6.29 ・外国為替管理令改正公布(資本取引の自由化措置)</p> <p>11.22 ・ケネディ大統領、テキサス州ダラスで暗殺される</p>
<p><b>1964[昭和39]年</b></p> <p>8.31 ・(川航)二輪車のアメリカ向け輸出を開始</p> <p>12.1 ・野田工場を開設(鉄構)</p>	<p>10.1 ・国鉄、東海道新幹線開業(東京・新大阪間4時間、1965.11.1 3時間10分に)</p> <p>10.10 ・第18回オリンピック・東京大会開催</p>

当社事項	一般事項
<p><b>1966[昭和41]年</b></p> <p>1.7 • (川車)貨車専門工場の加古川工場完成、竣工式(量産貨車のタクト生産を開始)</p> <p>3.1 • (川航)アメリカに「American Kawasaki Motors Corp.」を設立〔現・Kawasaki Motors Corp., U.S.A. (KMC)の前身〕</p> <p>11.1 • 横山工業を合併</p>	<p>5.16 • 中国、文化大革命始まる</p> <p>7.25 • 日本原子力発電(株)・東海発電所わが国初の原子力発電営業運転開始</p>
<p><b>1967[昭和42]年</b></p> <p>1.23 • 海上保安庁からわが国初の本格的潜水調査船「しんかい」(85排水トン)を受注</p> <p>3.9 • 坂出工場を開設</p> <p>5.1 • 本社に技術開発部を新設</p>	<p>8.1 • 日本の総人口1億人を突破</p> <p>8.8 • 東南アジア5カ国(フィリピン・マレーシア・インドネシア・タイ・シンガポール)、東南アジア諸国連合(ASEAN)結成</p>
<p><b>1968[昭和43]年</b></p> <p>4.22 • 本社を日生川崎ビル(神戸市)へ移転、業務開始</p> <p>8.12 • 西神戸工場を開設(精機)</p> <p>9.3 • 坂出工場、世界最大規模の修繕船用第2ドック(500,000DWT)が完成し、竣工式を挙げる。以後、単独ドック建造方式から修繕ドックを利用したセミタンデム方式に移行(70日間建造体制)</p> <p>12.2 • 川崎車輛・川崎航空機工業との合併契約書に調印</p> <p>12.10 • 神戸工場第4ドック(30,000GT)完成</p>	<p>一.一 • 国民総生産(GNP)1,428億ドルとなりアメリカに次ぎ自由世界で第2位、国際収支(経常)10億4,800万ドルの黒字(黒字基調が定着)</p> <p>一.一 • 第2次家庭電化ブームが起こり、3C(カラーテレビ・クーラー・カー)時代始まる</p>
<p><b>1969[昭和44]年</b></p> <p>3.20 • 海上保安庁へわが国初の本格的潜水調査船「しんかい」(85排水トン)を引渡し</p> <p>4.1 • 川崎車輛および川崎航空機工業と合併(資本金280億円、従業員26,000人)</p> <p>4.1 • 生浜工場を開設(鉄構)</p> <p>5.一 • わが国初の国産産業用ロボット「川崎ユニメート2000型」1号機完成</p> <p>6.16 • 八千代工場を開設</p> <p>11.29 • 社長 砂野仁、会長に就任、副社長 四本潔、7代社長に就任</p>	<p>5.1 • 好景気連続43カ月目に入り、戦後最長記録(いざなぎ景気)</p> <p>6.12 • わが国初の原子力船「むつ」進水</p> <p>7.20 • アメリカの宇宙船「アポロ11号」月面着陸</p> <p>10.1 • 宇宙開発事業団発足</p>
<p><b>1970[昭和45]年</b></p> <p>3.9 • 東京支社、世界貿易センタービルへ移転</p> <p>11.12 • XC-1中型輸送機試作第1号機、初飛行</p>	<p>3.14 • 日本万国博覧会(大阪)開幕(77カ国参加、6,421万8,770人入場)</p> <p>一.一 • 1966年以来、実質5カ年連続の2桁成長はこの年で中断し、「いざなぎ景気」終わる</p>
<p><b>1971[昭和46]年</b></p> <p>4.1 • 播磨工場を開設(産機)</p> <p>7.1 • 労働時間の短縮と夏期特別勤務制を実施(隔週週休2日制)</p> <p>9.13 • 東京設計事務所を開設</p> <p>12.18 • イギリスのロールス・ロイス社と発電用ガスタービンの国際分業で基本的合意(国産発電用ガスタービンの逆輸出)</p>	<p>7.1 • 環境庁発足(公害行政一元化)</p> <p>8.28 • 外国為替の売買相場の変動幅制限を停止(変動相場制採用)、円の対米ドル相場、5.47%切上げ相当となる</p>
<p><b>1972[昭和47]年</b></p> <p>2.5 • 播磨工場内に鉄構専門工場完成</p> <p>4.1 • 汽車製造を合併(新資本金433億2,600万円、従業員数約36,000人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 汽車製造・東京製作所を閉鎖、電車生産を兵庫工場に集約</li> <li>• 兵庫工場の貨車生産を宇都宮工場に集約</li> <li>• 大阪工場内に大阪車両部を新設し、ディーゼル機関車の生産を同工場に集約</li> </ul>	<p>2.3 • 第11回冬季オリンピック札幌大会開催(~2.13)</p> <p>5.15 • 沖縄の施政権返還、沖縄県発足</p> <p>10.1 • 産業用ロボット懇談会を発展的に解消し、「日本産業用ロボット工業会」(JIRA)が発足</p>

当世事項	一般事項
<p>4.1 ・パッケージボイラ工場および自動車製造の大阪製作所と滋賀製作所を大阪機械事業部として統合</p> <p>・稲美工場を開設(鑄造)</p> <p>5.30 ・世界初の空冷並列4気筒DOHC二輪車「Z1(900 Super Four)」の生産開始</p> <p>10.6 ・坂出工場第3ドック(建造能力600,000DWT)完成、第1船「清和丸」起工(昭和海運向け28次計画造船の230,000DWTタンカー)</p> <p>10.一 ・神戸工場の潜水艦用新第2ドック竣工</p>	
<p><b>1973[昭和48]年</b></p> <p>2.28 ・新しいマリネリジャー製品「ジェットスキー®」の生産開始</p> <p>5.21 ・リベリアのゴーラー・ガス・クライオジェニックス社向けわが国初の本格的な大型LNG運搬船2隻を受注</p> <p>10.一 ・神戸市西区に産業廃棄物の最終処分場(岩岡処分地)を開設</p> <p>12.14 ・C-1中型輸送機量産第1号機を防衛庁へ納入</p>	<p>2.14 ・円変動相場制へ移行</p> <p>10.25 ・国際石油資本、日本の石油業界に原油の供給10%削減を通告(第1次オイルショック)</p> <p>10.一 ・日本産業用ロボット工業会、社団法人に改組(初代会長 川崎重工業 安藤彦夫専務)</p>
<p><b>1974[昭和49]年</b></p> <p>2.22 ・イギリスに「Kawasaki Motors (UK) Ltd.」を設立</p> <p>4.1 ・完全週休2日制を実施</p> <p>4.1 ・定年男子58歳、女子56歳に延長</p> <p>9.2 ・フィリピンの「Kawasaki Motors Delsa Corp.」に資本参加(現・Kawasaki Motors (Phils.) Corporation)</p> <p>12.16 ・明石工場内に本社電算ビルを完成し、大型コンピュータを設置(全社コンピュータセンターを開設し、オンラインサービスを開始)</p>	<p>一.一 ・1974年度のわが国の経済成長率、実質△0.4%で戦後初のマイナス成長となる</p>
<p><b>1975[昭和50]年</b></p> <p>1.6 ・アメリカのネブラスカ州リンカーン市にKMCの二輪車組立工場が稼働</p> <p>4.1 ・生浜工場を千葉工場と改称、川崎工場を千葉工場へ移転</p> <p>4.15 ・防災救命システム部門事業を継承する新会社の川重防災工業(株)を設立(資本金3億円、初代社長 中南通夫)</p> <p>4.30 ・ドイツに「Kawasaki Motoren G.m.b.H.」を設立</p> <p>12.31 ・川崎工場を閉鎖</p>	<p>3.10 ・山陽新幹線岡山・博多間開業(東京・博多間全通)</p> <p>4.30 ・南ベトナム解放民族戦線、南ベトナムの首都サイゴンへ無血入城(ベトナム戦争終結)</p> <p>11.15 ・第1回先進国首脳会議(サミット)、フランスのランブイエで開催</p>
<p><b>1977[昭和52]年</b></p> <p>2.1 ・わが国初のLNG運搬船「GOLAR SPIRIT」(128,600m)を起工(船用主機蒸気タービンUC450型を搭載)</p> <p>5.一 ・非常用ガスタービン発電設備「カワサキPU200形」の初号機を西神ビルへ納入</p> <p>6.30 ・社長 四本潔、会長に就任、副社長 梅田善司、8代社長に就任</p> <p>6.30 ・わが国初のLNG運搬船「GOLAR SPIRIT」進水</p> <p>8.26 ・わが国初の純国産ガスタービン電源車完成</p>	<p>7.14 ・宇宙開発事業団、初の静止気象衛星「ひまわり」をアメリカ・ケープカナベラルから打上げ</p> <p>12.15 ・わが国初の静止通信衛星打上げ成功、「さくら」と命名</p>
<p><b>1978[昭和53]年</b></p> <p>1.1 ・タイの「Glory Kawasaki Motors., Ltd.」に資本参加</p> <p>4.1 ・神戸本社、東京本社の2本社制を採用</p> <p>7.1 ・川重冷熱サービス、川重東京冷熱サービス、機械事業本部空調汎用ボイラ部が合体し、川重冷熱工業(株)を設立(資本金2億円、初代社長 渡辺勝)</p>	<p>5.20 ・新東京国際空港開港式(建設決定から12年、6,000億円)</p> <p>5.23 ・ニューヨークにて初の国連軍縮特別総会開幕(～6.30)</p>
<p><b>1979[昭和54]年</b></p> <p>3.1 ・特別人員対策を実施(～4.30)</p> <p>4.一 ・中間処理施設と最終処分地を併せ持つ産業廃棄物処理センターを開設(神戸市西区)</p>	<p>1.17 ・国際石油資本、対日原油供給の削減を通告(第2次オイルショック)</p> <p>6.28 ・第5回先進国首脳会議(サミット)、東京で開催</p>



当社事項	一般事項
<p>8.10 ・西ドイツのMBB社と共同開発の双発ヘリコプタBK117、初飛行  12.11 ・民間航空機用ジェットエンジン(RJ500)の日・英(ロールス・ロイス社)共同開発計画について契約締結  12.19 ・岐阜工場飛鳥分工場(現・名古屋第二工場)を開設</p>	
<p><b>1980[昭和55]年</b>  3.5 ・防衛庁向け護衛艦(52DD)用オリンパス、タインCOGOG方式ガスタービン推進装置の国産初号機完成披露会を開催(神戸工場)  10.1 ・加古川工場を播磨工場へ集約</p>	<p>5.24 ・日本オリンピック委員会(JOC)、モスクワ五輪不参加を決定</p>
<p><b>1981[昭和56]年</b>  6.30 ・社長 梅田善司、会長に就任、副社長 長谷川謙浩、9代社長に就任  11.2 ・住友商事と合併でアメリカにホイールローダの販売会社「Kawasaki Loaders, Inc.」を設立  12.21 ・アメリカのKMCリンカーン工場を分離独立し、「Kawasaki Motors Manufacturing Corp., U.S.A. (KMM)」を設立</p>	<p>1.21 ・潜水調査船「しんかい2000」進水式  8.17 ・東証ダウ株価、史上初の8,000円の大台に乗る</p>
<p><b>1982[昭和57]年</b>  5.26 ・P-3C対潜哨戒機初号機を海上自衛隊へ納入</p>	<p>6.23 ・東北新幹線(大宮・盛岡間)開業  11.15 ・上越新幹線(大宮・新潟間)開業</p>
<p><b>1984[昭和59]年</b>  6.1 ・滋賀工場を川重冷熱工業へ移管  6.一 ・CH-47大型輸送用ヘリコプタとそのエンジンT55の製造について防衛庁から主契約者に指名</p>	<p>1.9 ・東証ダウ株価、初の1万円台  12.25 ・日本電信電話株式会社法、電気通信事業法、関係法律整備法を公布(電電公社民営化、電気通信事業の独占終わる)</p>
<p><b>1985[昭和60]年</b>  3.28 ・防衛庁向けわが国初の深海救難艇(DSRV)引渡し  7.1 ・アメリカ・ニューヨークに現地法人「Kawasaki Rolling Stock (U.S.A.), Inc. (KRS)」を設立(1989.2「Kawasaki Rail Car, Inc.」を設立し、KRSの業務を継承)  7.29 ・XT-4中等練習機試作機、初飛行  10.28 ・低騒音STOL実験機「飛鳥」、初飛行</p>	<p>4.1 ・日本電信電話(NTT)発足(全株式政府保有)  6.8 ・本四架橋初の大鳴門橋開通(淡路島・鳴門市)  9.22 ・先進主要5カ国蔵相・中央銀行総裁会議(G5)、ドル高是正のための為替市場への協調介入で合意(プラザ合意)</p>
<p><b>1986[昭和61]年</b>  1.30 ・新第3浮きドック(59,000GT)完成(神戸工場)  2.6 ・わが国初の救急医療用ヘリコプタ「BK117・EMS型」完成  3.31 ・宇都宮工場を閉鎖(貨車生産は兵庫工場に集約)  5.10 ・イギリス皇太子・同妃殿下、神戸工場にご来臨、ガスタービン運転場をご視察</p>	<p>4.1 ・男女雇用機会均等法施行(1985.6.1公布)  4.26 ・ソ連のチェルノブイリ原子力発電所にて人為的ミスによる大規模な事故発生  一.一 ・1986年12月から1991年2月まで51カ月に及ぶ戦後2番目の大型景気(円高、超低金利を背景にした地価、株価のバブル現象)</p>
<p><b>1987[昭和62]年</b>  1.1 ・明石南工場を廃止(明石工場に統合)  2.26 ・明石工場内にジェットエンジン新工場完成  3.16 ・特別人員対策を実施(〜4.30)  5.13 ・アメリカにホイールローダ製造会社「Kawasaki Loaders Manufacturing Corp, U.S.A. (KLM)」を設立  6.15 ・袖ヶ浦工場を開設(鉄構)  6.26 ・社長 長谷川謙浩、会長に就任、副社長 大庭浩、10代社長に就任  7.27 ・大阪設計事務所を開設  7.31 ・稲美工場を閉鎖  12.1 ・オランダに「Kawasaki Jet Ski Europe N.V.」を設立(現・Kawasaki Motors Europe N. V. の前身)</p>	<p>1.30 ・日経平均株価、初の2万円台  3.15 ・国際標準化機構(ISO)の品質管理・監査の国際規格「ISO9000」が発効  4.1 ・国鉄民営化による新会社JRグループ11法人と国鉄清算事業団発足  10.19 ・ニューヨーク株式市場で株価大暴落(ブラック・マンデー)、22.6%の下落で史上最大</p>

当世事項	一般事項
<p><b>1988[昭和63]年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1.29 ・大阪工場を閉鎖</li> <li>3.31 ・川崎工場を閉鎖</li> <li>3.31 ・神戸工場、第7船台を廃止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3.13 ・世界最長の青函トンネルの開通により、JR北海道の津軽海峡線全通(青函連絡船廃止)</li> <li>4.10 ・本四架橋児島～坂出ルート、瀬戸大橋(世界最長の道路・鉄道併用橋)開通</li> </ul>
<p><b>1989[平成元年]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6.21 ・アメリカのKMMがメアリービル工場を開設、汎用エンジン「FC150」の生産開始</li> <li>8.29 ・本四架橋明石海峡大橋の3P主塔工事を当社・住友重機械工業・NKK・三井造船・川田工業の共同企業体で受注(鋼重約24,000t)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.7 ・昭和天皇崩御(享年87歳、在位歴代最長)、平成と改元</li> <li>4.1 ・消費税(3%課税)実施</li> <li>12.3 ・ブッシュアメリカ大統領とゴルバチョフソ連書記長、マルタで会談、東西冷戦の終結を宣言</li> </ul>
<p><b>1990[平成2]年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.28 ・川重冷熱工業、店頭市場に株式公開(グループとして初の株式公開)</li> <li>3.1 ・西神工場を開設(ジェットエンジン)</li> <li>4.6 ・アメリカ・マサチューセッツ州ピッツフィールド(ボストン郊外)に車両組立工場を開設(MBTA向け2階建て客車の組立作業を実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2.27 ・船舶輸出組合、1989年の新造船受注が世界市場においてシェア50%を回復したと発表</li> <li>10.3 ・東西両ドイツ統一、ドイツ連邦共和国発足</li> </ul>
<p><b>1991[平成3]年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4.12 ・新本社ビル着工(神戸クリスタルタワー)</li> <li>5.22 ・英仏海峡海底鉄道トンネル掘削機1号機、掘削完了(2号機は6月28日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6.5 ・海上自衛隊、クウェートで掃海作業を開始</li> <li>一.一 ・1986年12月から51カ月にわたり続いた大型景気、1991年2月に終わる</li> </ul>
<p><b>1992[平成4]年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>12.1 ・名古屋第一工場を開設し、飛島分工場を名古屋第二工場と改称</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3.14 ・東海道新幹線に「のぞみ」登場</li> <li>6.15 ・国連平和維持活動(PKO)協力法が成立(8.10施行)</li> </ul>
<p><b>1993[平成5]年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4.9 ・名古屋第一工場の竣工式を挙行</li> <li>9.9 ・新本社ビル「神戸クリスタルタワー」完成し、竣工式を挙行</li> <li>9.30 ・本四架橋明石海峡大橋3P主塔完工</li> <li>12.1 ・アメリカのトライノーパー社からイギリスにある油圧モータ工場のプリマス工場を買収し、「Kawasaki Precision Machinery (UK) Ltd. (KPM)」を設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11.1 ・欧州連合条約発効、EU発足</li> </ul>
<p><b>1994[平成6]年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.18 ・インドネシアに「PT.Kawasaki Motor Indonesia」を設立</li> <li>4.22 ・ブルーインパルス用「T-4」1号機ロールアウト(岐阜工場)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2.4 ・H-II ロケット1号機打上げ</li> <li>9.4 ・わが国初の24時間供用の関西国際空港が開港</li> </ul>
<p><b>1995[平成7]年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1.17 ・兵庫県南部地震で、神戸工場をはじめ関西地区の各工場・神戸本社も設備などに被害</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.17 ・兵庫県淡路島付近を震源地とする兵庫県南部地震(M7.2)発生</li> </ul>
<p><b>1996[平成8]年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10.15 ・当社創立100周年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9.1 ・国際標準化機構(ISO)の環境管理・監査の国際規格「ISO14000」が発効、これを受けて通産省工業技術院、ISOに対応した日本工業規格(JIS)を制定(10.20)</li> </ul>
<p><b>1997[平成9]年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 ・アメリカにおける建設機械事業の販売会社Kawasaki Loaders, Inc.と製造会社Kawasaki Loaders Manufacturing Corp., U.S.A.を合併させ、新会社Kawasaki Construction Machinery Corp of Americaを設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3.22 ・秋田新幹線「こまち」開業(ミニ新幹線)</li> <li>4.1 ・消費税3%から5%に引き上げ</li> <li>4.1 ・容器包装リサイクル法施行(PETボトル・ガラスびんの分別収集義務化など)</li> </ul>

当社事項	
1.8	・最新鋭大型コンテナ運搬船「LUHE」の引渡し
2.6	・タイに二輪車用部品の製造合弁会社「KHITKAN Co., Ltd.」を設立
2.15	・二輪車「BALIUS-II」を発売
2.15	・二輪車「Super SHERPA」を発売
3.18	・新産業創造研究機構が発足、大庭社長が理事長に就任
3.27	・深海調査研究船「かいらい」の引渡し
3.一	・名古屋市向けストーカ式ごみ焼却施設(南陽工場500t/日×3基)を納入
4.一	・名古屋港埠頭公社向けに国内最大級のコンテナクレーン3基を納入
4.一	・JR総研(鉄道総合技術研究所)向け超電導リニアモーターカーの第1・第2編成車の先頭車両を当社の兵庫工場で作成・納入
5.14	・世界最大級のソーダ回収ボイラを日本製紙岩国工場に納入
6.4	・中国に二輪車用エンジン生産の合弁会社「海南新大洲川崎発動機有限公司」を設立
6.27	・会長兼社長 大庭浩、会長へ、専務 亀井俊郎、11代社長に就任
7.10	・ニューヨーク市交通局向け地下鉄電車(R142A)400両を受注
9.25	・大型巡視船(災害対応型)「いず」の引渡し
9.30	・滋賀県信楽町で建設した「MIHO MUSEUM BRIDGE」が国際構造工学会から優秀構造物賞を受賞
10.3	・東海道新幹線700系電車を東海旅客鉄道に納入開始
10.8	・東北・上越新幹線E4系全2階建て電車を東日本旅客鉄道に納入
11.一	・世界初の高炉ガス専焼複合火力発電設備を中国上海宝山製鉄会社に納入
12.1	・沖縄県那覇市に鉄構製品を扱う沖縄事業所を開設
12.一	・東京湾横断道路向けシールド掘進機3機を納入

#### 1998[平成10]年

1.1	・中国で船用推進機生産の合弁会社「武漢川崎船用機械有限公司」が操業開始
1.10	・二輪車「ELIMINATOR 250V」発売
1.16	・シンガポール向け地下鉄電車(C751B)126両を受注
2.15	・二輪車「D-TRACKER」を発売
3.16	・「おやしお」型潜水艦の1番艦「おやしお」(2代目)引渡し
3.18	・当社とCOSCOの合弁会社「南通遠洋船務工程有限公司(NOSEC: 現・NACKS)」で第一番船の鋼材加工開始
3.31	・「明石海峡大橋」の神戸側ケーソン、淡路側主塔と補剛桁を製作・架設
3.一	・東京都多摩川衛生組合向けストーカ式ごみ焼却施設(クリーンセンター多摩川150t/日×3基)を納入
4.一	・旭硝子千葉工場向けにバケットホイール式連続アンローダを初納入
5.14	・ドイツに産業用ガスタービン事業の現地法人「Kawasaki Gas Turbine Europe GmbH」を設立
5.一	・独自開発の低Noxシステム採用の重油専焼ボイラを紀州製紙紀州工場に納入
6.6	・中国の合弁会社「武漢川崎船用機械有限公司」で川崎サイドスラスト初号機完成
7.1	・中・小型汎用ロボット「Fシリーズ」を発売
9.25	・神戸工場に「安全第一」を刻んだ無災害記録達成記念の石碑が完成
9.30	・「来島海峡大橋」の大島側の主塔および補剛桁を製作・架設、主塔では、わが国初の引張りボルト接合方式を採用

一般事項	
6.18	・独占禁止法改正公布、持株会社の設立を原則自由化(12.17施行)
6.18	・男女雇用機会均等法、労働基準法改正公布
7.2	・タイ通貨のバツ暴落、東南アジア各国の通貨暴落に波及(アジア通貨危機)
7.4	・アメリカの探査機「マーズ・パスファインダー」が火星表面への軟着陸に成功
10.1	・長野(北陸)新幹線、東京-長野間開業
12.1	・地球温暖化防止京都会議開幕、12.11京都議定書を採択
12.17	・介護保険法公布(2000.4.1施行)
一.一	・金融機関の経営破綻相次ぐ
一.一	・国内総生産、前年比0.7%減、23年ぶりのマイナス成長に

2.7	・長野冬季オリンピック開幕(~2.22)
4.1	・改正外為法施行(日本版金融ビッグバン始動)
4.5	・明石海峡大橋開通
6.10	・サッカーワールドカップフランス大会開幕(~7.12)、日本初出場
6.22	・金融監督庁発足
10.9	・地球温暖化対策推進法公布
10.12	・金融再生関連4法案が可決、10.16公布
10.23	・日本長期信用銀行、債務超過で初の銀行国有化を適応
12.1	・特定非営利活動促進法(NPO法)施行
11.16	・戦後最悪不況に24兆円の緊急経済対策が決定
11.17	・ムーディーズ社、日本国債の格付けを最上級から1ランク下げ

当世事項	一般事項
<p>10. 1 ・車両事業部の関係会社である川崎工機が川重運輸サービスを吸収合併</p> <p>10. 1 ・車両事業部の関係会社である川重三陽工業が川重鉄道車両エンジニアリングと川重兵庫業務センターを吸収合併し、川重車両エンジニアリング(株)に社名変更</p> <p>10.19 ・中国に二輪車用エンジン生産の合併会社「海南新大洲川崎発動機有限公司」が開業</p> <p>11. 5 ・深江工業の粉体機械部門を営業譲受、新たに深江パウテック(株)を設立</p> <p>11.一 ・当社が炉心設計と炉心構造物等の製造を担当した日本原子力研究開発機構向けHTTRが初臨界を達成</p> <p>12. 3 ・次世代大型航空機用エンジンTrent500 Trent8104の国際共同開発・生産に参画を決定</p> <p>12.11 ・神戸工場第1ドックが歴史的な価値や意義から、文部科学省の定める登録有形文化財に登録</p> <p>12.23 ・ニューヨーク市交通局向け地下鉄電車(R-143)212両を受注</p> <p>12.一 ・1200kWの大型風力発電設備をたちかわ風力発電研究所より受注</p> <p>一.一 ・産業用ロボット「FS010N」が日本産業デザイン振興会のグッドデザイン賞を受賞</p>	
<p>1999[平成11]年</p>	
<p>1.28 ・ウォータークラフト「JET SKI Ultra 150」を発表</p> <p>1.一 ・タイ・バンコク地下鉄建設プロジェクト向けシールド機6機を納入</p> <p>2.15 ・二輪車「W650」を発売</p> <p>2.一 ・香港KCRC(九廣鐵路公司)向け鉄道車両(SPI900)250両を受注(当社は70両製造で近畿車輜と分担生産)</p> <p>2.一 ・世界最大のダイヤモンド鋳石破砕機「ジャイレトリークラッシャ」をボツワナへ納入</p> <p>3.一 ・福島市向け不燃・粗大ごみ処理施設(福島市リサイクルプラザ100t/5h)を納入</p> <p>3.一 ・明石市向け不燃・粗大ごみ処理施設(明石クリーンセンター破砕選別施設92t/5h)を納入</p> <p>3.一 ・独自開発の低NOxシステム採用の重質重油専焼ボイラをジャパンエナジー知多製油所向けに納入</p> <p>4. 8 ・野田総合事務所・関東技研ビルが完成</p> <p>5. 8 ・当社とCOSCOの合併会社「南通中遠川崎船舶工程有限公司(NACKS)」の開業式と第1番船の進水式を挙</p> <p>6.16 ・韓国・仁川市に現地法人「Kawasaki Machine Systems Korea, Ltd.」を設立</p> <p>6.22 ・当社とCOSCOが1997年10月に共同設立した鉄構製品の設計などを行う「上海中遠川崎重工鋼結構有限公司(SCK)」が開業</p> <p>7. 8 ・陸上自衛隊向け「観測ヘリコプタ(OH-1)」の量産初号機が初飛行に成功</p> <p>7.12 ・東北・上越新幹線E4系全2階建て電車を東日本旅客鉄道に納入</p> <p>10. 5 ・エンブラエル社と「リージョナルジェット機エンブラエル170型機」の開発・製造に関する契約を締結</p> <p>10. 9 ・わが国初の赤外自由電子レーザー装置を開発、設置を完了</p> <p>10.29 ・大型巡視船「さつま」の引渡し</p> <p>11. 1 ・大型汎用ロボット「Zシリーズ」を発売</p> <p>11. 7 ・大阪市港湾局向け「なにわの海の時空館」ガラスドームを納入</p>	<p>1. 1 ・欧州連合(EU)の単一通貨ユーロ、フランス・ドイツ・イタリアなど11カ国で導入</p> <p>2.28 ・臓器移植法に基づく初の脳死移植が実施される</p> <p>3. 1 ・対人地雷全面禁止条約が発効</p> <p>3. 3 ・日銀、ゼロ金利政策を導入</p> <p>3.12 ・金融再生委員会、大手銀行15行に7兆4,592億円の公的資金注入を承認</p> <p>5. 7 ・情報公開法成立(2001.4.1施行)</p> <p>6.23 ・男女共同参画社会基本法公布</p> <p>7. 1 ・新生NTT、持株会社と事業3社に分割・再編して発足</p> <p>8. 9 ・国旗・国歌法成立(8.13公布施行)</p> <p>11.11 ・東京証券取引所にベンチャー企業向け株式市場東証マザーズ開設</p> <p>12. 1 ・改正労働者派遣法施行、派遣対象業務を原則自由化</p> <p>一.一 ・世界の人口が60億人を突破</p>

当世事項	一般事項
<p>一.一 ・建設機械・産業車両等、幅広い用途に開発した斜板形アキシシャルピストンポンプ「K3VLシリーズ」を発売</p>	
<p>2000[平成12]年</p>	
<p>1.24 ・二輪車「Ninja ZX-12R」の生産を開始  2.22 ・産業用ロボットのNCデータ作成システム「KCONG」を用いたティーチレスロボットシステムの販売を開始  2.24 ・二輪車「VULCAN 1500 Classic Fi」[VULCAN 1500 Classic Tourer Fi]を発売  3.9 ・潜水艦「うずしお」引渡し  3.15 ・「川崎式BK117C-2型ヘリコプタ」の初飛行に成功  3.24 ・深海救難艇「ちはやDSRV」を引渡し  3.30 ・国際宇宙ステーション日本実験モジュール「きぼう」に設置するエアロックを宇宙開発事業団に納入  3.一 ・神戸市向けストーカー式ごみ焼却施設(東クリーンセンター300t/日×3基)を納入  3.一 ・埼玉県児玉郡市広域市町村圏組合向けストーカー式ごみ焼却施設(小山川クリーンセンター76t/日×3基)を納入  4.1 ・神戸製鋼所より塗装ロボット事業を継承  4.一 ・太平洋セメント向けに世界最大級の移動式破碎プラント(MCP)を納入  6.15 ・高速ピッキングロボットシステム「eyeLiner」を発売  6.29 ・社長 亀井俊郎、会長に就任、専務 田崎雅元、12代社長に就任  6.一 ・豪州Bengalla社向けにスタッカおよびスクレーパ式リクレーマ計6基を納入  6.一 ・風力発電機の輸入代理店ヴェステック ジャパン(株)を設立・出資  7.1 ・(株)カワサキマシシステムズを設立  8.1 ・高圧・大容量の省エネ・低騒音電動油圧装置「川崎電油ハイブリッドシステム カワサキエコサーボ」を発売  8.23 ・大型航空機用国内最大級(推力100,000ポンド級)のジェットエンジン運転セルが完成  9.18 ・オランダに二輪車製品の欧州統合販売会社「Kawasaki Motors Europe N.V.」を設立  10.1 ・鉄構・機器事業部の関係会社を再編し、川重工事、川重橋梁メンテナンス、川重工事機材の3社を川重工事に統合  10.1 ・鉄構・機器事業部の関係会社を再編し、川重播磨テック、川重野田テック、東播業務センター、東葛業務センターの4社を川重播磨テックに統合、新社名を(株)川重機器テックとする  12.12 ・台湾向け新幹線システムを正式契約、360両受注  12.一 ・香港KCRC向け鉄道車両(SP1950)72両を受注  一.一 ・水平多関節クリーンロボット「NSシリーズ」を発売</p>	<p>1.1 ・コンピュータ2000年問題、国内外とも大きな混乱なく収束  4.1 ・介護保険制度発足  4.1 ・民事再生法施行  4.6 ・3月末の携帯電話台数、5,000万台を超え固定電話を抜く  7.1 ・金融庁発足  7.19 ・新額面紙幣2,000円札発行  7.21 ・九州・沖縄サミット、沖縄県名護市で開催  8.1 ・新500円硬貨発行  8.11 ・日銀、99年2月以来のゼロ金利政策解除  12.6 ・少年法改正公布、刑罰対象年齢を16歳から14歳に引き下げ</p>
<p>2001[平成13]年</p>	
<p>2.9 ・ベニックソリューション(株)を設立  2.26 ・中国海洋石油総公司向け同国最大級の肥料製造プラントを受注  2.一 ・原材料から特定のプラスチックを選別する近赤外線式プラスチック材質選別機「マルチソータ」の初号機を納入  2.一 ・稚内市水道部向け660kW×3基の風力発電設備納入  3.21 ・二輪車「ZX1200R」と「ZX1200S」の2機種を発売  4.1 ・20MW級純国産高効率ガスタービン「L20A」の販売を開始  4.1 ・カンパニー制・執行役員制を導入  4.1 ・ロボット、汎用ガスタービンの国内販売・サービス機能をカワサキマシシステムズに集約し営業を開始</p>	<p>1.6 ・中央省庁再編成、1府12省庁体制発足  1.20 ・アメリカ大統領にジョージ・ブッシュ氏が就任  3.16 ・日本政府が戦後初のデフレと認定  4.1 ・情報公開法施行、情報公開制度始まる  4.6 ・政府、不良債権処理の緊急対策を決定  6.22 ・確定拠出年金(日本版401k)法が成立  8.29 ・H-IIAロケット打ち上げ成功  9.11 ・アメリカで同時多発テロ発生  10.29 ・自衛隊のアメリカ軍後方支援を可能にするテロ関連3法案成立</p>

当社事項	一般事項
<p>5.一 ・札幌ドーム向けに空気浮上により天然芝サッカーグラウンドを移動させるホヴァリングステージを初納入</p> <p>7.一 ・アメリカ・ブルックヘブン研究所より受注した先端素粒子検出器(ATLAS)の低温真空容器の製作における優れた技術協力に対して欧州合同原子核研究機構(CERN)よりAwardを受賞</p> <p>7.一 ・アメリカ・サンノゼに半導体製造装置メーカー向けロボットの販売事務所「Kawasaki Robotics (USA), Inc San Jose Office」を設立</p> <p>8.29 ・当社とスズキは二輪車の業務提携で基本合意</p> <p>9.17 ・パリとロンドンを結ぶ新幹線用のトンネル掘削用トンネルボーリングマシン2基を受注</p> <p>10.31 ・伊勢湾岸自動車道にかかる名港中央大橋の主塔および名港西大橋の主桁を製作・架設</p> <p>10.一 ・アメリカ・ウィスコンシン大学より受注した特殊磁場素粒子検出器(CMS)の特殊磁場シールドの製作における優れた技術協力に対して欧州合同原子核研究機構(CERN)よりAwardを受賞</p> <p>11.1 ・Kawasaki Motors Manufacturing Corp., U.S.A.に北米唯一の鉄道車両の一貫製造を行う最新鋭の鉄道車両専用工場を設立、稼働開始</p> <p>11.7 ・「川崎式BK117C-2型ヘリコプタ」の初号機を納入</p> <p>12.1 ・二輪車「KLX110」を発売</p> <p>12.一 ・海洋技術センター向け地球深部探査用大型レックスペラ6基およびサイドスラスト1基を納入</p> <p>12.一 ・稚内サラキトマナイ風力向け大型風力発電設備(発電出力14,850kW)を納入</p> <p>12.一 ・兵庫県立武道館向けに床転換装置を初納入</p>	<p>11.9 ・海上自衛隊、インド洋に向け出港</p> <p>11.10 ・世界貿易機関(WTO)、中国の加盟を承認</p>
<p><b>2002[平成14]年</b></p> <p>1.1 ・マニラ事務所、シドニー事務所を廃止</p> <p>2.1 ・二輪車「250TR」を発売</p> <p>3.1 ・ウォータークラフト「JET SKI 1200STX-R」を発売</p> <p>3.1 ・カワサキ初のスクーター「エプシロン250」と「エプシロン150」を発売</p> <p>3.14 ・潜水艦「いそしお」引渡し</p> <p>3.一 ・国土交通省向け静岡県長島ダムの6門のうち3門を製作・施工</p> <p>4.1 ・関係会社を再編し、川崎工機を川重車両テクノ(株)に、川重車両エンジニアリングを川重車両コンポ(株)に社名変更</p> <p>4.一 ・川重防災工業が東京証券取引所市場第二部株式に上場</p> <p>5.31 ・兵庫工場に鉄道車両関連部品の製造を集約した新工場を建設、部品事業の操業開始</p> <p>6.1 ・フルオートマチック トランスミッションを搭載した4輪駆動のATV「KVF360 4×4」を発売</p> <p>7.1 ・防爆塗装ロボット「KFシリーズ」を発売</p> <p>7.17 ・「ボーイング777-300ER型機」初号機用胴体パネルの納入を開始</p> <p>7.23 ・「リージョナルジェット機エンブラエル170型機」の量産機用主翼コンポーネントを初出荷</p> <p>7.25 ・中国・天津地下鉄1号線向け泥土圧式シールド掘進機を納入</p> <p>8.5 ・松見坂代々木シールド工事向けにカッター交換装置を採用した泥水式シールド掘進機を納入</p> <p>10.1 ・船舶部門を会社分割し、(株)川崎造船を設立</p> <p>10.1 ・精密機械部門を会社分割し、(株)カワサキプレジジョンマシナリを設立</p> <p>10.1 ・ソウル事務所を廃止</p>	<p>1.1 ・EUの共通通貨、ユーロ流通開始</p> <p>2.一 ・いざなぎ景気始まる</p> <p>2.17 ・映画『千と千尋の神隠し』がベルリン国際映画祭の金熊賞(最高賞)を受賞</p> <p>4.1 ・学習指導要領改訂により公立学校の完全週5日制など「ゆとり教育」開始</p> <p>5.28 ・経団連と日経連が統合し「日本経済団体連合会(日本経団連)」発足</p> <p>5.31 ・サッカー・ワールドカップ日韓大会開幕(~6.30)、日本は初のベスト16入り</p> <p>8.5 ・住民基本台帳ネットワーク稼働開始(2003.8.25本格稼働)</p> <p>9.17 ・小泉首相が北朝鮮を訪問、金正日総書記と初の日朝会談</p> <p>10.15 ・北朝鮮拉致被害者5人が帰国</p> <p>12.1 ・東北新幹線、盛岡-八戸駅間開業</p>

当社事項	一般事項
<p>11.1 ・二輪車「KSR110」を発売</p> <p>11.一 ・ニューヨーク市交通局向け地下鉄電車(R160)260両を受注</p> <p>12.26 ・イランケルマンシャ石油化学工業向け肥料製造プラントを受注</p> <p>12.一 ・千葉市向けスーパーごみ発電を備えたストーカ式ごみ焼却施設(新港クリーン・エネルギーセンター135t/日×3基)を納入</p> <p>12.一 ・新開発の内部循環式流動床ボイラを大牟田リサイクル発電に納入</p> <p>一.一 ・アルミ合金厚板の摩擦攪拌接合の技術を確立</p>	
<p><b>2003[平成15]年</b></p>	
<p>1.6 ・重可搬型汎用ロボット「Mシリーズ」を発売</p> <p>1.一 ・福岡県大牟田・リサイクル発電向けRDF(Refuse Derived Fuel)発電施設(大牟田リサイクル発電所315t/日×1基)を納入</p> <p>2.1 ・ウォータークラフト「JET SKI 800SX-R」を発売</p> <p>2.13 ・わが国初の鉄道トンネル工事向け全断面トンネル掘削用トンネルボーリングマシンが完成</p> <p>2.一 ・福岡県大牟田・荒尾清掃組合向けごみ燃料化施設(大牟田・荒尾RDFセンター75t/日×3基)を納入</p> <p>3.6 ・航空自衛隊向け「T-4中等練習機」の最終号機を納入</p> <p>3.一 ・滋賀県高島市向け川崎-流動床ガス化溶融式ごみ処理施設(高島市環境センター37.5t/日×2基)を納入</p> <p>4.1 ・日本飛行機を完全子会社化</p> <p>4.1 ・破碎機事業における神戸製鋼所との合弁会社(株)アーステクニカを設立</p> <p>4.1 ・当社とスチールプランテックは、包括的な事業統合を行うことで基本合意</p> <p>4.1 ・韓国の油圧機器メーカーFlutek社に資本参加し子会社化</p> <p>4.6 ・ロードレース世界選手権MotoGPクラスに新開発の「Ninja ZX-RR」で本格的に参戦</p> <p>4.24 ・ブラジルのKawasaki Aeronautica do Brasil Industria,Ltdaに航空機用主翼組立工場が完成</p> <p>7.31 ・海上自衛隊向け次期掃海・輸送および南極輸送支援用ヘリコプタに「EH-101」が決定</p> <p>8.8 ・4ストロークエンジンを搭載したモトクロスレース専用「KX250F」を発売</p> <p>8.26 ・二輪車「Ninja ZX-10R」を発表</p> <p>9.4 ・首都高速中央環状新宿線トンネル工事向けにシールド掘進機を納入</p> <p>9.16 ・15隻の建造実績を重ねた145,000m<sup>3</sup>LNG運搬船の第1番船「ENERGY FRONTIER」引渡し</p> <p>9.16 ・二輪車「VULCAN 2000」を発表</p> <p>9.一 ・台北市政府捷運工程局向け台北地下鉄電車(CK371)321両を受注</p> <p>10.7 ・エアバスA380向けロールス・ロイス社製Trent900エンジン用中圧圧縮機ケーシングを初出荷</p> <p>12.一 ・国内最大級の非常用ガスタービン発電設備PU5000/PU6000を新開発</p>	<p>2.1 ・アメリカ・スペースシャトルが大気圏突入中に空中分解</p> <p>3.19 ・アメリカ・イギリス軍がイラク攻撃開始(イラク戦争)</p> <p>3.一 ・アジア地域を中心に新型肺炎(SARS)が流行</p> <p>4.1 ・日本郵政公社発足</p> <p>4.16 ・産業再生機構発足(5.8業務開始)</p> <p>5.23 ・個人情報保護関連5法成立</p> <p>6.6 ・有事関連3法成立</p> <p>7.26 ・イラク復興支援特別措置法成立、非戦闘地帯への自衛隊派遣が可能となる</p> <p>8.25 ・住民基本台帳ネットワーク本格稼働</p> <p>10.1 ・東海道新幹線の品川駅が開業</p> <p>10.1 ・宇宙航空研究開発機構(JAXA)発足</p> <p>12.1 ・テレビ、3大都市圏で地上波デジタル放送開始</p>
<p><b>2004[平成16]年</b></p>	
<p>1.1 ・川重検査サービスと川重機器テックが合併し、合併新会社名を川重ファシリテック(株)とする</p> <p>2.一 ・わが国初の洋上風力発電システム(1,200kW)を北海道瀬棚町向けに納入</p>	<p>1.9 ・自衛隊にイラク派遣命令</p> <p>3.13 ・九州新幹線部分開業(新八代-鹿児島中央)</p> <p>4.1 ・国立大学が法人化</p> <p>5.1 ・EU、東欧諸国等10カ国が正式加盟、25カ国体制に</p> <p>5.21 ・裁判員制度法成立</p>

当社事項	一般事項
<p>3.1 4ストロークエンジン搭載のウォータークラフト「JET SKI STX-15F」を発売</p> <p>3.8 潜水艦「くろしお」引渡し</p> <p>3.31 モロッコのラファージュセメント社の新設工場向けに日産2,300トンのセメントプラントを納入・引き渡し完了</p> <p>3.一 サミットウインドパワー酒田向けにわが国初の海上水路部に設置の大型風力発電システム(16,000kW)を納入</p> <p>4.4 「L20A」を搭載したコンバインドサイクル発電設備を初受注</p> <p>4.14 「フリクションスポット接合システム：FSJ」が第33回日本産業技術大賞の審査委員会特別賞を受賞</p> <p>5.17 台湾高速鐵路向け700T型電車を納入開始</p> <p>7.20 地雷探知車「MINE DOG」をアフガニスタンに向けて出荷</p> <p>10.19 当社を含む日本の航空機メーカー3社とボーイング社が「ボーイング787型機」の開発に関する正式契約を締結</p> <p>10.20 中華人民共和国鉄道部向け在来線高速化用CRH2型電車480両を受注</p> <p>10.22 ロールス・ロイス社の最新鋭旅客機用エンジン「Trent1000」の開発・生産に参画を決定</p> <p>10.28 災害発生時の従業員危機管理システム「安否情報システム」を開発</p> <p>11.一 川崎MAN-B&amp;W型船用2サイクルディーゼル機関の累計生産1,000万馬力を達成</p> <p>12.6 シンガポール地下鉄工事向け岩盤対応型のシールド掘進機を納入</p>	<p>6.5 年金改革関連法成立</p> <p>9.18 プロ野球選手会、12球団維持を求めて史上初のストライキ</p> <p>10.1 イチロー選手、大リーグ年間最多安打記録更新(最終262本)</p> <p>11.1 20年ぶりに日本銀行券改刷、一万円札(福沢諭吉)、五千円札(樋口一葉)、千円札(野口英世)</p>
<p>2005[平成17]年</p>	<p>2.16 地球温暖化防止のための京都議定書発効</p> <p>3.25 愛知県で2005年日本国際博覧会(愛・地球博)開幕(～9.25)</p> <p>4.1 個人情報保護法施行</p> <p>4.1 ペイオフ全面解禁</p> <p>4.25 JR福知山線で脱線事故、死者107人</p> <p>5.6 プロ野球、初のセ・パ交流戦開幕</p> <p>6.1 政府推奨のクール・ビズ開始</p> <p>8.24 つくばエクスプレス開業</p> <p>10.1 日本道路公団など4公団が分割民営化</p> <p>10.1 全国で50の新市町誕生、「平成の大合併」がピークに</p> <p>10.14 郵政民営化関連法成立</p>
<p>1.1 韓国子会社Flutek社で船用舵取機事業開始</p> <p>2.22 中国における鉄道車両エンジニアリング合弁会社「青島四方川崎車両技術有限公司」の設立に合意</p> <p>3.3 大分県所在の国際規格公認サーキット場「オートポリスサーキット」を取得</p> <p>3.12 東海道新幹線N700系新幹線電車(先行試作車)を東海旅客鉄道に納入</p> <p>3.16 CONCHセメント11工場向けセメント排熱発電設備を一括受注</p> <p>3.一 世界最大級の三音速風洞装置が防衛庁技術研究本部札幌試験場(北海道千歳市)に完成</p> <p>3.一 世界最大級のソーダ回収ボイラ設備を北越製紙新潟工場に納入</p> <p>4.1 破碎機製造部門をアーステクニカに移管し、同社を製販統合会社化</p> <p>4.1 プラント事業を分社し、カワサキプラントシステムズ(株)を設立</p> <p>1.一 開発した高性能液化水素コンテナを用いて、兵庫県尼崎市の水素液化基地から東京都江東区の燃料電池自動車水素ステーションまでの輸送供給の公道試験に成功</p> <p>5.12 ニュージャージー港湾局ハドソン横断公社向け新型通勤電車(PA-5)340両を受注</p> <p>5.19 種子島宇宙センターに納入した大型ロケット整備組立棟の「前面扉」が、「世界最大の扉」としてギネス登録</p> <p>6.28 社長 田崎雅元、会長に就任、副社長 大橋忠晴、13代社長に就任</p> <p>6.一 東日本旅客鉄道向け新幹線高速試験電車FASTECH360の新幹線専用車両E954形式を納入</p> <p>9.29 二輪車「ZZR1400」を発売</p> <p>9.一 福岡クリーンエナジー向けストーカ式ごみ焼却施設(東部工場300t/日×3基)を納入</p> <p>10.14 海上自衛隊向けRTM322エンジン(掃海・輸送機MCH-101ヘリコプタ用)国産初号機を納入</p>	



当社事項	一般事項
<p>11.15 ・ウォータークラフト「JET SKI X-2」を発売</p> <p>12.1 ・米国に建設機械用油圧ポンプ販売子会社「Kawasaki Precision Machinery (U.S.A.), Inc.」を設立</p> <p>12.26 ・中国に建設機械用油圧ポンプ生産子会社「川崎精密機械(蘇州)有限公司」を設立</p>	
<p>2006[平成18]年</p>	
<p>1.12 ・台湾桃園国際空港連絡鉄道向け車両123両を受注</p> <p>1.一 ・ウィンドテック小国向け大型風力発電システム(定格出力8,500kW)を受注</p> <p>2.6 ・シンガポール地下鉄工事向け岩盤対応型のシールド掘進機を完納(8基)</p> <p>2.一 ・坂出LNGからLNG基地をフルターンキーで受注</p> <p>3.1 ・東北支社を廃止</p> <p>3.3 ・海上自衛隊向け「MCH-101掃海・輸送ヘリコプタ」の初号機を納入</p> <p>3.9 ・潜水艦「やえしお」引渡し</p> <p>3.20 ・二輪車「W400」を発売</p> <p>4.1 ・中国支社、四国支社を廃止</p> <p>4.1 ・加古川工場(旧加古川車両工場)開設</p> <p>4.一 ・世界最大級の船用電子制御ディーゼル機関「川崎MAN-B&amp;W 12K98ME」の初号機を完成</p> <p>5.16 ・阪急電鉄子会社のアルナ輸送機用品の全株を取得し、完全子会社化</p> <p>5.17 ・企業ミュージアム「カワサキワールド」がオープン</p> <p>6.一 ・わが国初の実用AIP(大気非依存型推進装置)潜水艦16SS用にスターリング機関発電システムを納入</p> <p>7.7 ・西神工場にケース加工と特殊工程を主とした第2工場が竣工</p> <p>7.10 ・名古屋第一工場に「ボーイング787型機」の新工場が完成</p> <p>7.一 ・ニューヨーク州交通局メトロノース鉄道向け交直流通勤電車(M8) 210両を受注</p> <p>8.16 ・天津にロボット販売関係会社「川崎機器人(天津)有限公司」を設立</p> <p>8.一 ・世界最高性能の8MW級ガスエンジンを開発</p> <p>8.一 ・LNG船用主機タービン世界初の累計100基達成</p> <p>10.1 ・環境事業を分社し、カワサキ環境エンジニアリング(株)を設立</p> <p>10.3 ・韓国仁川空港高速鉄道建設工事向け岩盤対応型のシールド掘進機を納入</p> <p>10.12 ・創立110周年記念祝賀会(記念講演会・祝賀パーティー)を開催</p> <p>10.16 ・中国・安徽海螺創業投資有限公司(CONCH)とセメント排熱発電設備の設計・調達・販売を行う合弁会社「安徽海螺川崎工程有限公司(ACK)」の設立契約調印</p> <p>11.8 ・中国の上海事務所を現地法人化し「川崎重工諮詢(上海)有限公司」を設立(2007.1.1事業開始、上海事務所廃止)</p> <p>11.9 ・カワサキ初のスーパーチャージャー搭載のウォータークラフト「JET SKI ULTRA 250X」を発表</p> <p>11.14 ・航空機用一定周波数発電装置「T-IDG®」を新開発</p> <p>11.15 ・フルターンキーにてフィリピンIPP向け石炭火力発電所設備一式を納入</p> <p>12.一 ・大型ニッケル水素蓄電池「ギガセル」による風力発電出力の平滑化実証に成功</p> <p>一.一 ・兵庫工場開設100年、国内外の顧客に納入した各種車両の総数が8万7,000両を超える</p> <p>一.一 ・播磨工場では鉄道車両製品の生産を開始</p>	<p>2.16 ・神戸空港開港</p> <p>3.9 ・日本銀行が量的緩和政策を5年ぶりに解除</p> <p>3.20 ・第1回WBC(ワールド・ベースボール・クラシック)で日本が優勝</p> <p>4.1 ・移動体向け地上デジタル放送(ワンセグ)、29都府県で開始</p> <p>5.1 ・日米安全保障協議委員会、普天間基地移設とアメリカ海兵隊の一部ゲーム移転などを合意</p> <p>5.1 ・会社法施行</p> <p>9.6 ・秋篠宮紀子さまが悠仁親王をご出産、41年ぶりの男子皇族</p> <p>9.30 ・国産旅客機YS-11が国内定期航路より引退</p> <p>10.24 ・携帯電話の番号ポータビリティ制度開始</p> <p>12.15 ・改正教育基本法成立</p>

当世事項	一般事項
<p>2007[平成19]年</p>	
<p>1.11 • バンコク事務所、クアラルンプール事務所、ジャカルタ事務所の機能をKawasaki Heavy Industries (Singapore) Pte. Ltd. に集約</p> <p>1.11 • インドにデリー事務所を開設</p> <p>1.11 • ボーイング787型機の前部胴体を初出荷</p> <p>2.1 • 半導体搬送ロボット累計1万台出荷達成</p> <p>2.14 • 二輪車「VULCAN900 Custom」、[VULCAN900 Classic] を発売</p> <p>3.1 • ロシアにモスクワ事務所を開設</p> <p>3.17 • 神戸工場で原動機事業の創業100周年記念行事を開催</p> <p>3.28 • 兵庫工場に新総合事務所「車両本館」が完成</p> <p>3.一 • 自社開発の磁気軸受式高速電動機直結単段ターボプロワ(MAGターボ)初号機を納入</p> <p>3.一 • 大阪府岸和田市貝塚市清掃施設組合向けストーカ式ごみ焼却施設(岸和田市貝塚市クリーンセンター177t/日×3基)を納入</p> <p>4.1 • カワサキ環境エンジニアリングがカワサキプラントシステムズを吸収合併し、社名をカワサキプラントシステムズ(株)と変更</p> <p>4.9 • 西神戸工場に油圧機器の重要部品を世界拠点に供給するコアパーツ工場を建設</p> <p>5.28 • カワサキグループ・ミッションステートメントを制定</p> <p>6.1 • 山陽新幹線N700系7000番代新幹線電車(量産先行車)を西日本旅客鉄道に納入</p> <p>6.15 • 橋梁・水門事業からの撤退を公表</p> <p>7.4 • 防衛省向け「次期固定翼哨戒機(P-X)」および「次期輸送機(C-X)」の試作1号機をロールアウト</p> <p>7.一 • カワサキグリーンガスエンジンが世界最高の発電効率48.5%を達成</p> <p>8.1 • エア・ウォーター防災の全株式をエア・ウォーターに譲渡</p> <p>8.25 • 川崎造船神戸工場でクレーン倒壊事故発生</p> <p>夏.一 • 二輪車「1400GTR」を発売</p> <p>9.28 • 防衛省向け「次期固定翼哨戒機(XP-1)」の試作1号機の初飛行に成功</p> <p>10.18 • ブラジルに二輪車生産・販売子会社「Kawasaki Motores do Brasil Ltda.」を設立</p> <p>10.26 • 中国・安徽海螺創業投資有限公司(CONCH)とセメント排熱発電設備エンジニアリング合弁会社「安徽海螺川崎節能設備製造有限公司(CKM)」を設立</p> <p>10.一 • 岩谷産業向けに自己加圧可能な液化水素40フィートコンテナを当社として初めて納入</p> <p>11.22 • 自社開発小型ターボジェットエンジン「KJ14」、防衛調達基盤整備協会の協会賞を受賞</p> <p>11.29 • 西神戸工場に航空エンジンの大型ケース加工一貫生産工場(第3工場棟)が竣工</p> <p>12.3 • 7tクラス小型ショベル用戦略的油圧ポンプ「K7SP36」の量産開始</p> <p>12.一 • 上越エネルギーサービスにて自社開発の高効率「グリーンガスエンジン」を用いた発電実証プラントの運転開始</p> <p>12.一 • 東京二十三区清掃一部事務組合向け川崎-流動床ガス化溶解式ごみ処理施設(世田谷清掃工場150t/日×2基)を納入</p> <p>一.一 • オフロード四輪車「TERYX 750 4x4」を発表</p>	<p>1.9 • 防衛省発足</p> <p>2.7 • 1月末の携帯・PHSの契約数が1億台を突破</p> <p>3.2 • 日本の新幹線技術を導入した台湾高速鉄道が開業・営業開始</p> <p>3.22 • 公示価格の全国平均が16年ぶりに上昇</p> <p>5.14 • 憲法改正の手続きを定める国民投票法が成立</p> <p>9.14 • 日本の月探査機かぐや、H-IIAロケットにて打ち上げ成功</p> <p>10.1 • 郵政民営化で日本郵政グループ発足</p> <p>11.1 • テロ対策特措法期限切れ、給油活動の海上自衛隊がインド洋から撤収</p> <p>11.21 • 京都大学、ヒトの皮膚細胞からiPS細胞の作製に成功と発表</p> <p>一.一 • 産地・賞味期限などの食品偽装事件が相次ぐ</p> <p>一.一 • アメリカのサブプライムローン問題で世界同時株安に</p>
<p>2008[平成20]年</p>	
<p>3.6 • 潜水艦「もちしお」引渡し</p>	<p>2.2 • トヨタ自動車、2007年の生産台数がGMを抜き世界1位に</p>

当社事項	
3.21	・新潟県胎内市向け下水汚泥炭化設備を納入
4.1	・神戸製鋼所との破砕機事業合弁会社アーステクニカを100%子会社化
4.5	・二輪車「D-TRACKER X」を発売
4.5	・二輪車「Ninja 250R」を発売
4.18	・川崎造船坂出工場に大組立工場7A棟が竣工
5.8	・中国・南通中遠川崎船舶工程有限公司(NACKS)で第2ドック竣工、800tクレーン2基を装備、長さ500m、幅80m
6.一	・北海道内初のLNG一次受け入れ基地となる石狩LNG基地建設工事を受注
7.1	・カワサキプラントシステムズが、IHIの営むセメントプラントに関する事業を譲受け
7.21	・アラブ首長国連邦(U.A.E.)ドバイに「Kawasaki Heavy Industries Middle East FZE」を設立(2008年11月営業開始)
7.一	・細胞自動培養装置の製造・販売事業を開始し創薬研究用途向けに発売を開始
8.29	・防衛省向け「次期固定翼哨戒機(XP-1)」の試作1号機を納入
9.8	・ベトナムCam Pha Cement向けに同国最大規模のセメントプラントを納入
9.一	・日本の車両メーカーとして初めて時速350kmで走る新型高速鉄道車両「efSET」の自社開発に着手
10.1	・中・小型汎用ロボット「Rシリーズ」を発売
10.15	・ブラジルの現地法人「Kawasaki Motores do Brasil Ltda.」で二輪車の販売を開始
10.23	・播磨工場でスラスタ第1工場が完成し、操業開始
10.31	・建設機械のホイールローダ事業などに関し、当社、日立建機、TCMで共同研究開発を行うこと、当社がホイールローダ事業等を分社し、新たに設立する子会社へ日立建機が出資することを骨子とする事業提携に合意
11.27	・二輪車「ZR1200 DAEG」を発売
12.12	・Trent XWB(エアバスA350XWB用)へのRRSP(リスク&レベニュー シェアリング パートナー)契約による参画を決定
12.一	・大阪府枚方市向けストーカ式ごみ焼却施設(枚方市東部清掃工場120t/日×2基)を納入

## 2009[平成21]年

3.一	・中国・安徽海螺創業投資有限公司(CONCH)とセメント製造設備生産の合弁会社「安徽海螺川崎裝備製造有限公司(CKE)」の設立契約調印
4.1	・建設機械部門を(株)KCMとして分社
6.15	・東北新幹線E5系新幹線電車(量産先行車)を東日本旅客鉄道に納入
6.25	・社長 大橋忠晴、会長に就任、副社長 長谷川聰、14代社長に就任
8.12	・播磨工場にてH-IIBロケット用フェアリングの分離放てき試験に成功
9.2	・モロッコ・ラファージュセメント向けセメント製造設備(日産2,300トン)の2号ラインを引渡し
9.17	・台湾の光陽工業股份有限公司(KYMCO)と中国に汎用ガソリンエンジンの生産合弁会社「常州川崎光陽發動機有限公司」を設立
9.18	・韓国SNNC社へ世界最大級のフェロニッケル精錬プラントを引渡し
10.15	・ブラジルの現地法人「Kawasaki Motores do Brasil Ltda.」で二輪車生産工場の稼働を開始
12.15	・二輪車「KLX125」、「D-TRACKER 125」を発売

一般事項	
3.11	・国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」建設の第1便打ち上げ
4.1	・後期高齢者医療制度開始
4.1	・財務報告に係わる内部統制の評価制度(J-SOX法)適用開始
5.1	・ふるさと納税受付開始
7.7	・北海道洞爺湖サミット開催
7.11	・原油価格高騰、ニューヨーク先物で史上最高の147.27ドルを記録
7.11	・iPhone日本で発売開始
9.15	・アメリカ大手証券会社リーマン・ブラザーズが経営破綻、世界金融危機の発端に(リーマン・ショック)
10.1	・観光庁発足
1.5	・株券電子化完了、電子データによる取引開始
1.20	・アメリカ大統領にバラク・オバマ氏が就任、初のアフリカ系アメリカ人大統領
3.5	・定額給付金の支給開始
3.10	・日経平均株価の終値がバブル後最安値となる7,054円98銭を付ける
3.14	・ソマリア沖海賊対策に海上自衛隊の護衛艦が出動
5.15	・省エネ家電推進制度エコポイント開始
5.21	・裁判員制度開始
6.11	・WHOは新型インフルエンザの流行をパンデミック(世界的大流行)と判定
9.1	・消費者庁発足
一.一	・世界同時不況で電機、自動車などの輸出企業の業績が悪化

当世事項	一般事項
<p><b>2010[平成22]年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1.26 ・防衛省向け「次期輸送機(XC-2)」の試作1号機が初飛行に成功</li> <li>2.23 ・中国に建設機械・船舶用油圧機器・装置の販売子会社「川崎精密機械商貿(上海)有限公司」を設立</li> <li>3.2 ・名古屋第一工場にボーイング787型機の増産対応向け新工場(南工場)が完成</li> <li>3.25 ・「そうりゅう」型潜水艦当社一番艦「うんりゅう」引渡し</li> <li>3.30 ・防衛省向け「次期輸送機(XC-2)」の試作1号機を納入</li> <li>4.27 ・中期経営計画とその前提となるKawasaki事業ビジョン2020を策定し、発表</li> <li>5.一 ・ワシントン首都圏交通局向け7000系地下鉄電車428両を受注</li> <li>7.1 ・インドに二輪車の輸入・販売を行う現地法人「India Kawasaki Motors Pvt. Ltd.」を設立</li> <li>7.8 ・秋田新幹線E6系新幹線電車(量産先行車)を東日本旅客鉄道に納入</li> <li>10.1 ・グループカンパニー3社、川崎造船、カワサキプレジジョンマシナリ、カワサキプラントシステムズを吸収合併</li> <li>10.6 ・「川崎ユニメート2000型」が重要科学技術史資料(未来技術遺産)に登録</li> <li>11.1 ・電気推進船用1MW級超電導モータで国内最高出力を達成</li> <li>11.30 ・航空機用一定周波数発電装置T-IDG®を海上自衛隊哨戒機P-1量産機向けに初納入</li> <li>12.8 ・ベトナム・ブットソンセメントジョイントストックカンパニーにセメントプラントを納入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 ・社会保険庁廃止、日本年金機構発足</li> <li>1.19 ・日本航空が経営破綻、会社更生法の適用を申請</li> <li>3.8 ・住宅エコポイント制度開始</li> <li>3.31 ・平成の大合併終結、市町村数半減</li> <li>4.1 ・公立高校授業料無償化開始</li> <li>5.28 ・日米両政府、普天間基地移転先を名護市辺野古とする共同声明発表</li> <li>6.13 ・小惑星探査機「はやぶさ」、小惑星イトカワより帰還</li> <li>9.24 ・アメリカ、大リーグのイチロー選手、10年連続200本安打の新記録達成</li> <li>10.21 ・羽田空港の新国際線ターミナル供用開始、本格的な再国際線化</li> <li>12.4 ・東北新幹線全線開業(東京-新青森)</li> <li>一.一 ・記録的な猛暑で熱中症による死者多数</li> </ul>
<p><b>2011[平成23]年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1.26 ・クアラルンプール事務所を閉鎖</li> <li>2.1 ・二輪車「W800」を発売</li> <li>2.9 ・ウォータークラフト「JET SKI ULTRA 300X」シリーズを発売</li> <li>3.7 ・Trent XWBエンジン中圧圧縮機モジュールを初出荷</li> <li>3.17 ・細胞自動培養システム「オートカルチャー®」が第3回ひょうごものづくり技術大賞の兵庫県知事賞を受賞</li> <li>3.一 ・台北市高速運輸部から台中市都市交通システムを受注(フランスのALSTOM Transport S.A.と台湾のCTCI Corporationと協働)</li> <li>5.25 ・エアバス社A320neo用エンジン「PW1100G-JM」の開発・生産に参画を決定</li> <li>5.一 ・安徽海螺川崎装備製造有限公司(CKE)の铸造新工場建設</li> <li>8.10 ・神戸工場新館の竣工式を開催</li> <li>9.2 ・当社初のリヒートタービン推進LNG運搬船「ENERGY HORIZON」引渡し</li> <li>9.2 ・LNG船に再熱サイクル採用の船用ボイラを納入</li> <li>9.7 ・わが国初の発電容量11万kWのガスエンジン発電所建設工事を日本テクノより受注</li> <li>9.25 ・中国・大連中遠造船工業有限公司(DACOS:現・DACKS)の第一番船となるばら積運搬船「HENG SHUN」の命名・引渡し式挙行</li> <li>10.1 ・スポット溶接用ロボット「Bシリーズ」を発売</li> <li>11.8 ・二輪車「Ninja ZX-14R」を発表</li> <li>11.30 ・ボーイング777型機の1,000号機用胴体パネルを出荷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.20 ・中国、2010年のGDPを発表、日本を超え世界第2位に</li> <li>3.11 ・東日本大震災発生、M9.0、巨大津波により死者・行方不明者2万人以上に</li> <li>3.12 ・九州新幹線、全線開業</li> <li>7.17 ・女子サッカー日本代表「なでしこジャパン」がドイツのW杯で優勝</li> <li>7.24 ・テレビ放送がアナログ放送から地上デジタル放送に完全移行</li> <li>10.31 ・国連人口基金、世界人口が70億人に到達と推計</li> <li>10.31 ・円高、1ドル=75.32円の戦後最高値を記録</li> <li>11.12 ・野田首相、日米首脳会談でTPP(環太平洋パートナーシップ協定)参加を表明</li> <li>12.18 ・アメリカ軍、イラクから撤退完了</li> <li>一.一 ・貿易収支が31年ぶりに赤字に</li> </ul>
<p><b>2012[平成24]年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 ・東北支社、中国支社、沖縄支社を新設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2.10 ・復興庁発足</li> </ul>

当社事項	一般事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>2.1 ・二輪車「Ninja 250/300」を発売</li> <li>2.9 ・インドWipro社と建設機械用油圧ポンプ製造のための合弁会社「Wipro Kawasaki Precision Machinery Private Limited」設立</li> <li>3.1 ・30MW級の純国産高効率ガスタービン「L30A」の販売開始</li> <li>3.2 ・播磨工場に技能教育センター「匠塾」竣工</li> <li>3.16 ・潜水艦「けんりゅう」引渡し</li> <li>3.28 ・陸上自衛隊向け「新多用途ヘリコプタ(UH-X)」を受注</li> <li>4.1 ・アーステクニカが深江パウテックを吸収合併</li> <li>4.19 ・アブダビ下水道工事向け泥土圧式シールド掘進機3基を完納</li> <li>4.26 ・オーストラリア・イクシスLNGプロジェクト向け低温タンク4基を受注</li> <li>5.一 ・安徽海螺川崎装備製造有限公司(CKE)の鋳造工場火入れ</li> <li>6.1 ・隆鑫通用動力股份有限公司(Loncin Motor Co., Ltd.)と中国における二輪車の製造・販売に関する事業提携に合意</li> <li>7.1 ・防爆塗装ロボット「K」シリーズ」を発売</li> <li>9.25 ・西神工場に第4工場棟が竣工</li> <li>9.25 ・海上自衛隊向け「P-1固定翼哨戒機」の量産初号機が初飛行に成功</li> <li>10.1 ・30MW級発電用ガスタービン「L30A」初号機の実証運転を開始</li> <li>10.29 ・カワサキガスタービン1万台販売記念謝恩会を開催</li> <li>11.26 ・東京本社が東京都港区海岸1丁目に移転</li> <li>11.一 ・東邦ガス向けに世界最大級の地下式LNGタンクを受注</li> <li>12.10 ・「多用途双発ヘリコプタBK117」の累計1,000機納入を達成</li> <li>12.25 ・都心、地下約40mのトンネル工事で、当社製の口径比の大きいシールド掘進機を使用した工事にて、地中分岐成功</li> <li>12.一 ・船用スベイガスタービンの100%国産化ライセンスの取得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3.1 ・国内線初の格安航空会社(LCC)、ピーチアビエーション就航</li> <li>5.5 ・北海道の泊原発3号機が定期点検に入り国内の原発はすべて運転停止に</li> <li>5.21 ・金環日食が日本の広い地域で観測される、国内広範囲で観測されるのは932年ぶり</li> <li>5.22 ・東京スカイツリー開業</li> <li>7.1 ・再生可能エネルギー源による発電買取を固定価格で義務付ける「固定価格買取制度」開始</li> <li>8.6 ・NASAの火星探査機キュリオシティが火星に着陸</li> <li>8.10 ・消費税増税と社会保障を一体化する社会保障・税一体改革関連法が成立</li> <li>10.6 ・アメリカ軍の新型輸送機オスプレイが沖縄普天間飛行場に配備される</li> <li>11.15 ・中国共産党総書記に習近平氏が就任</li> </ul>
<p>2013[平成25]年</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>1.一 ・播磨工場に旋回式スラスタ「レックスペラ」の新工場、スラスタ第2工場が完成</li> <li>3.26 ・海上自衛隊向け「P-1固定翼哨戒機」の量産初号機を納入</li> <li>4.5 ・「エンブラエル170/190型機」累計1,000号機の出荷記念式典開催</li> <li>4.15 ・二輪車「Z250」を発売</li> <li>4.25 ・川崎重工グループのタグライン「Powering your potential」を制定</li> <li>5.一 ・電気推進船用3MW超電導モータを開発し、世界最高性能を達成</li> <li>6.6 ・インドネシア向けKawasaki Bajajブランドの二輪車「PULSAR 200NS」を発売</li> <li>6.13 ・臨時取締役会において、長谷川聡、高尾光俊、廣畑昌彦の代表取締役・役付取締役を解職し、社長付の取締役とすることを決議</li> <li>6.13 ・臨時取締役会において、常務 村山滋、15代社長に就任</li> <li>6.26 ・Trent 1000-TEN(ボーイング787用)、Trent XWB(エアバスA350用)へのRRSP(リスク&amp;レベニュー シェアリング パートナー)契約による参画を決定</li> <li>6.一 ・世界初、サスペンション機能を持つCFRPフレームを採用した次世代の鉄道車両台車「efWING」を開発、2013年度グッドデザイン金賞を受賞</li> <li>7.1 ・シンガポール地下鉄工事向け泥土圧式シールド掘進機5基を完納</li> <li>7.31 ・新多用途ヘリコプター(UH-X)受注にかかる官製談合防止法違反事案に関し、受注の過程において不適切な行為が認められたため、防衛省より指名停止を受けた(当社関係者は不起訴)</li> <li>8.18 ・中国の現地法人「川崎重工管理(上海)有限公司」を通じて中国での二輪車の輸入・販売を開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 ・東京証券取引所グループと大阪証券取引所が経営統合、日本取引所グループが発足</li> <li>1.22 ・日銀、物価目標2%を決定、無期限金融緩和を導入</li> <li>4.1 ・改正高年齢者雇用安定法施行</li> <li>6.19 ・障害者差別解消法が成立</li> <li>8.9 ・財務省、国の借金残高が1,008兆6,281億円と初めて1,000兆円を超えたことを発表</li> <li>9.8 ・2020年の五輪が東京に決定</li> <li>10.22 ・大手ホテルなどで食材偽装問題が判明</li> <li>12.6 ・特定秘密保護法成立</li> <li>一.一 ・極小粒子状物質(PM2.5)問題が深刻化する</li> </ul>

当世事項	一般事項
<p>8.29 ・医療用ロボット開発に向けてシスメックスと共同で(株)メディカロイドを設立</p> <p>9.一 ・セメントプラント用大型粉碎機として開発した高効率ローラミルであるCKミルの受注累計が100台を達成</p> <p>9.一 ・ロングアイランド鉄道・メトロノース鉄道向けM9通勤電車92両を受注</p> <p>10.22 ・神戸工場第1ドックが、船舶の大型化、震災による被災とその後の老朽化進行のため埋戻し決定、神戸市長を来賓に迎え、お別れセレモニー開催</p> <p>10.30 ・シェル社向け世界初の浮体式天然ガス液化プラント「プレリュード」に設置される大型ボイラ7缶を納入</p> <p>11.1 ・医療・医薬向けロボット「MC004N、MS005N」を発売</p> <p>11.5 ・二輪車「Z1000」を発表、スクーターモデル「J300」を発表</p> <p>11.30 ・ジャカルタ事務所を閉鎖</p> <p>12.一 ・台湾中油(CPC)台中港LNG受入貯蔵設備増設プロジェクト向けLNGタンクを受注</p>	
<p>2014[平成26]年</p>	
<p>1.1 ・タイにバンコク事務所を再開</p> <p>1.20 ・二輪車「ESTRELLA」を発売</p> <p>2.28 ・明石工場に新総合事務所が竣工</p> <p>2.28 ・明石工場に新データセンター「K-Cube」竣工</p> <p>3.一 ・世界初となるCFRPパネ採用の鉄道車両用台車「efWING」を熊本電気鉄道に初納入</p> <p>3.一 ・北陸新幹線向けE7系・W7系新幹線電車を東日本旅客鉄道、西日本旅客鉄道に納入</p> <p>3.一 ・山口県防府市向けストーカ式ごみ焼却・バイオガス化複合施設(防府市クリーンセンター75t/日×2基)を納入</p> <p>4.一 ・国産初、ノルウェー船級協会より舶用ガスエンジンの型式承認を取得</p> <p>5.一 ・シンガポールLand Transport Authority(陸運局)向け新線(トムソン・イーストコースト線)用MRT電車(T251)364両を受注</p> <p>5.一 ・中国海螺グループとの合弁会社であるACKが中国で環境配慮型ごみガス化システム「CKKシステム」4機を連続受注</p> <p>6.12 ・日本航空機開発協会と日本5社がボーイング社と次世代大型旅客機ボーイング777X型機の開発・量産参画へ覚書を調印</p> <p>9.12 ・名古屋第一工場にボーイング787型機用世界最大級オートクレーブ(直径9m、全長30m、総重量920t)が完成</p> <p>9.30 ・次期リージョナルジェット機用エンジンPW1500G / PW1900GへのRRSP(リスク&amp;レバニュー シェアリング パートナー)契約による参画を決定</p> <p>10.17 ・トルクメニスタン・トルクメヒーミヤ向け同国最大級の肥料製造プラントを納入</p> <p>11.4 ・二輪車「Ninja 250SL」「Z250SL」を発表</p> <p>11.12 ・皇太子殿下(今上天皇)の兵庫工場ご視察(昭和天皇、上皇陛下に続く3代続けてのご視察)</p> <p>11.13 ・オイルフリー圧縮機ユニットの初号機を受注</p> <p>11.一 ・産業用では初となる純国産独自技術の水素液化システムを開発し、水素液化試験を開始</p>	<p>1.7 ・国家安全保障局が発足</p> <p>3.7 ・あべのハルカス竣工、日本一高いビル(300m)となる</p> <p>4.1 ・消費税5%から8%に引き上げ</p> <p>4.1 ・政府、防衛装備移転三原則を閣議決定</p> <p>4.6 ・三陸鉄道が全線復旧</p> <p>7.1 ・集団的自衛権の行使を容認する政府見解を閣議決定</p> <p>9.8 ・テニスの全米オープンで錦織圭選手が準優勝</p> <p>9.18 ・スコットランド独立、住民投票で否決される</p>
<p>2015[平成27]年</p>	
<p>1.29 ・川崎サイドスラスタースタート累計生産5,000台達成</p>	<p>3.14 ・北陸新幹線(長野-金沢)開業</p> <p>6.17 ・選挙権年齢を18歳に引き下げる改正公職選挙法が成立</p>

当社事項	一般事項
<p>3.1 • 高速パレタイズロボット「CPシリーズ」、大型汎用ロボット「CXシリーズ」、小型アーク溶接ロボット「BAシリーズ」発売</p> <p>3.9 • 潜水艦「こくりゅう」引渡し</p> <p>3.13 • 名古屋第一工場にボーイング787型機の増産対応向け新工場(東工場)が完成</p> <p>3.31 • インドのデリー事務所を現地法人化し「Kawasaki Heavy Industries (India) Private Limited」を設立(2015.5.1事業開始、デリー事務所廃止)</p> <p>4.1 • 医療用ロボット本格開発に着手</p> <p>5.1 • 汎用ガソリンエンジン「FJ300D」を発売</p> <p>5.20 • 世界初、船用ディーゼル主機関に搭載される複合低環境負荷システム「K-ECOS」が完成</p> <p>6.2 • Trent 7000(エアバスA330neo用)へのRRSP(リスク&amp;レベニューシェアリングパートナー)契約による参画を決定</p> <p>6.3 • 人と同じ空間で作業できる人共存型双腕スカラロボット「duAro(デュアロ)」を発売</p> <p>6.15 • 二輪車「VULCAN S」を発売</p> <p>6.18 • 韓国SNNC社ヘフェロニッケル精錬プラント2期増設設備を引渡し</p> <p>7.1 • 神戸工場に安全道場(全社安全教育施設)を開設</p> <p>7.10 • 量産車として世界で唯一のスーパーチャージドエンジンを搭載した二輪車「Ninja H2/H2R」を発売</p> <p>10.1 • 産業車両向け(汎用)に開発した斜板形アキシャルピストンポンプ「K3VLSシリーズ」を発売</p> <p>10.1 • 産業車両向けに開発した斜板形アキシャルピストンポンプ「K8Vシリーズ」を発売</p> <p>10.1 • 産業車両向けに開発した斜板形アキシャルピストンモータ「M7V/M7Xシリーズ」を発売</p> <p>10.1 • KCMの全株式を日立建機に譲渡</p> <p>10.29 • 当社史上過去最大の出力150MWの発電用蒸気タービンの初号機を出荷</p> <p>10.一 • 世界初、低NOx水素専焼ガスタービンの燃焼技術を開発</p> <p>11.6 • ロシアのモスクワ事務所を現地法人化し「Kawasaki Heavy Industries Russia LLC」を設立(2015.9.21認可取得、11.1事業開始・モスクワ事務所廃止、11.6出資)</p> <p>11.12 • 「川崎MAGターボ」納入累計100台を達成</p> <p>一.一 • インドネシアAntam社ヘフェロニッケル精錬プラント第4系列設備を引渡し</p>	<p>7.20 • アメリカとキューバ、国交回復</p> <p>8.28 • 女性活躍推進法成立</p> <p>9.19 • 安保関連法案成立、集団的自衛権の行使を容認</p> <p>9.19 • ラグビーワールドカップで日本が南アフリカを破る歴史的快挙</p> <p>10.1 • スポーツ庁が設置される</p> <p>10.5 • 環太平洋パートナーシップ協定(TPP)12カ国が大筋合意</p> <p>11.5 • 渋谷区と世田谷区が同性間パートナーシップ制度の証明書を初めて交付</p> <p>12.7 • 金星探査機「あかつき」が金星を回る軌道に入る事に成功</p> <p>12.12 • 国連気候変動枠組条約締約国会議(COP21)でパリ協定採択</p> <p>12.12 • フィギュアスケートの羽生結弦選手が男子初のグランプリファイナル3連覇</p>
<p>2016[平成28]年</p>	
<p>1.25 • 二輪車「Ninja ZX-10R」を海外市場で発売</p> <p>2.22 • 当社、岩谷産業、シェルジャパン、電源開発の4社が「技術研究組合CO<sub>2</sub>フリー水素サプライチェーン推進機構」(略称「HySTRA(ハイストラ)」)を設立</p> <p>3.一 • 亘理名取共立衛生処理組合向けごみ焼却施設(岩沼東部環境センター78.5t/日×2基)を納入</p> <p>3.一 • 北海道電力向けに世界最大級の地上式LNGタンク(容量23万kℓ)を受注</p> <p>4.15 • 二輪車「Z125 PRO」を発売</p> <p>5.17 • 航空自衛隊向け「C-2輸送機」の量産初号機が初飛行に成功</p> <p>6.24 • 社長 村山滋、会長に就任、副社長 金花芳則、16代社長に就任</p> <p>8.1 • 北京事務所を閉鎖し、その業務を「川崎重工管理(上海)有限公司北京分公司(北京支店)」に移管</p>	<p>1.1 • マイナンバー制度運用開始</p> <p>1.29 • 日銀が初のマイナス金利政策導入決定(2.16実施)</p> <p>2.26 • 2015年の国勢調査で日本の総人口が戦後初の減少</p> <p>3.26 • 北海道新幹線開業(新青森-新函館北斗)</p> <p>4.1 • 電力小売全面自由化開始</p> <p>5.26 • 伊勢志摩サミット開催</p> <p>5.27 • アメリカ・オバマ大統領、現職大統領として初めて広島を訪問、原爆死没者慰霊碑に献花</p> <p>6.23 • イギリス、国民投票でEU離脱を決定</p> <p>7.10 • 参院選、初の18歳国政選挙、自公両党など改憲会派が3分の2の議席獲得</p> <p>8.11 • 新設の祝日「山の日」始まる</p>

当社事項	一般事項
<p>8.5 ・東京お台場に東京ロボットセンターショールーム「Kawasaki Robostage」を設立</p> <p>8.24 ・東日本旅客鉄道向けクルーズトレインTRAIN SUITE 四季島を報道公開</p> <p>9.29 ・世界初のLNG燃料による運航が可能な自動車運搬船「AUTO ECO」を南通中遠川崎船舶工程有限公司(NACKS)で竣工</p> <p>10.4 ・二輪車「Ninja 650」を発売</p> <p>10.15 ・「川崎重工創立120周年記念展 一世界最速にかけた誇り高き情熱一」を神戸ポートターミナル・大ホールにて開催、三式戦闘機「飛燕」の復刻版実機およびKawasaki最新のモーターサイクルNinja H2R/H2を展示(開催期間 10月15日～11月3日)</p> <p>10.26 ・二輪車「Z1000(R Edition)」を発売</p> <p>10.一 ・アメリカ・Kawasaki Rail Car Inc.での鉄道車両生産30周年</p> <p>10.一 ・台湾電力林口発電所向けに空気浮上式コンベヤFDC®(フロアダイナミックスコンベヤ)を納入</p> <p>11.8 ・二輪車「Z900」を発売</p> <p>11.12 ・日印両国政府首脳(日本政府：安倍晋三内閣総理大臣、インド政府：ナレンドラ・モディ首相)が兵庫工場視察</p> <p>12.一 ・東武鉄道向け500系特急電車を納入</p>	<p>11.4 ・地球温暖化対策のパリ協定発効</p> <p>一.一 ・世界各地でイスラム過激派によるテロ相次ぐ</p>
<p>2017[平成29]年</p>	
<p>1.17 ・航空・陸上自衛隊向け「輸送ヘリコプタCH-47J/JA」の累計100機納入を達成</p> <p>1.17 ・当社を含む13社で構成するHydrogen Council(水素協議会)を設立</p> <p>1.一 ・アメリカ・Kawasaki Motors Manufacturing Corp., U.S.A.の車両工場で鉄道車両製造累計2,000両を達成</p> <p>2.13 ・名古屋第一工場にボーイング777X型機向け新工場が完成</p> <p>2.22 ・東京外かく環状道路本線トンネル(南行)東名北工事向けφ16・1m泥土圧シールド掘進機が発進</p> <p>3.10 ・最新型「H145//BK117D-2型ヘリコプタ」を初受注</p> <p>3.13 ・潜水艦「せきりゅう」引渡し</p> <p>3.16 ・ウォータークラフト「JET SKI SX-R」を発売</p> <p>3.24 ・タイのパークプライ・コージェネレーション・プロジェクト向けに「カワサキグリーンガスエンジン」3基を受注</p> <p>3.24 ・当社最大容量の内部循環流動床ボイラ(蒸気発生量131t/h)を韓国・全州製紙に納入</p> <p>3.28 ・広範囲の患者移動機能を有する手術台「Vercia(ヴェルシア)SOT-100」を発売</p> <p>3.一 ・神戸市向けごみ焼却施設(港島クリーンセンター200t/日×3基)を納入</p> <p>4.一 ・船用ハイブリット推進用発電機M7A-05の新型イージス艦 まや型護衛艦への採用</p> <p>5.27 ・スーパーバイク世界選手権で通算100勝を達成</p> <p>6.一 ・インド最大手の重電メーカー BHEL社(Bharat Heavy Electricals Limited)とのステンレス鋼製電車と高速鉄道車両に関する協力を合意</p> <p>7.13 ・ビッグデータを活用した船舶運航管理支援システム「SOPass」を初受注、三井物産が用船する当社建造LNG運搬船に搭載</p> <p>8.一 ・ダッカ都市交通会社向け鉄道車両144両および車両基地設備を三菱商事と共同受注</p> <p>9.一 ・西武鉄道40000系車両が第11回キッズデザイン賞「内閣総理大臣賞」(最優秀賞)を受賞、鉄道車両で初めての「内閣総理大臣賞」</p>	<p>1.20 ・アメリカ大統領にドナルド・トランプ氏が就任、「アメリカ・ファースト」を宣言</p> <p>1.25 ・ニューヨーク株式市場のダウ平均株価が史上初めて2万ドルを超える</p> <p>4.1 ・ガス小売全面自由化開始</p> <p>6.15 ・「共謀罪」の構成要件を改め「テロ等準備罪」を新設する改正組織犯罪処罰法が成立</p> <p>6.26 ・将棋で14歳の藤井聡太四段が29連勝の新記録達成</p> <p>7.7 ・国連で核兵器禁止条約採択、日本は不参加</p> <p>9.9 ・陸上100mで桐生祥秀選手が日本人初の9秒台となる9秒98を記録</p> <p>12.5 ・将棋の羽生善治棋聖が史上初の永世七冠を達成</p> <p>一.一 ・製造業大手の検査データなどの不正が次々と発覚</p>



当社事項	一般事項
<p>9.一 ・インドの現地法人「India Kawasaki Motors Pvt. Ltd.」に新工場を開設し「Ninja 1000」の現地生産を開始</p> <p>10.2 ・スーパーバイク世界選手権にNinja ZX-10RRで参戦しているジョナサン・レイ選手がスーパーバイク世界選手権史上初の三連覇を達成</p> <p>10.29 ・坂出工場創立50周年記念式典を開催、坂出市長および香川県商工労働部長参列</p> <p>11.6 ・中国・安徽省にてセメント排熱発電設備向け新型ボイラ「VEGA®ボイラ」の初号機運転開始</p> <p>11.7 ・5MW級で世界最高効率(発電効率32.6%)の純国産ガスタービン「M5A」を販売開始</p> <p>11.27 ・ABBグループと協働ロボット分野における協業に合意</p> <p>11.29 ・Trent IPCモジュール累計生産1,000台を達成</p> <p>11.29 ・遠隔協調で熟練技術者の動きを再現する新ロボットシステム「Successor(サクセサー)」を発表</p> <p>12.1 ・二輪車「Z900RS」を発売</p> <p>12.26 ・新開発の旋回式スラスト「E型レックスペラ」を初受注</p>	
<b>2018[平成30]年</b>	
<p>1.12 ・環境へ配慮したスラグ用縦型CKミルを日鉄住金セメントへ納入</p> <p>1.一 ・ニューヨーク市交通局向け地下鉄電車(R211)535両を受注</p> <p>2.28 ・新開発のU-KACC®ボイラを採用したボイラ・タービン発電設備を富士石油袖ヶ浦製油所に納入</p> <p>2.一 ・大阪府四条畷市交野市清掃施設組合向けごみ焼却施設(四交クリーンセンター62.5t/日×2基)を納入</p> <p>3.1 ・二輪車「Ninja H2 SX」を発売</p> <p>3.23 ・深海救難艇「ちよだDSRV」引渡し</p> <p>3.一 ・滋賀県草津市向けごみ焼却施設(草津市立クリーンセンター63.5t/日×2基)を納入</p> <p>4.1 ・日本除雪機製作所が(株)NICHIJYOへ社名変更</p> <p>4.2 ・二輪車「Z900」を発売</p> <p>4.12 ・日豪の5社にてコンソーシアムを組み、オーストラリア・ビクトリア州ラトロープバレーの褐炭から製造された水素を液化し、日本へ輸送する国際的なサプライチェーン構築の実証事業に着手</p> <p>4.19 ・神戸市ポートアイランドにて、世界初、市街地での水素コージェネレーションシステム実証試験開始</p> <p>4.20 ・世界初、市街地で水素100%による熱電供給を達成</p> <p>4.23 ・ガスタービン「L30A」を用いた自社開発の100MW級コンバインドサイクル発電プラント建設工事を初受注</p> <p>5.一 ・豪華寝台列車TWILIGHT EXPRESS 瑞風を西日本旅客鉄道に納入</p> <p>6.1 ・人共存型双腕スカラロボット「duAro(デュアロ)2」を発売</p> <p>6.11 ・「低温排熱利用による省エネ型CO<sub>2</sub>分離回収システム」がエネルギー・資源学会 学会賞を受賞</p> <p>6.12 ・モトクロスレース専用二輪車「KX450」を発売</p> <p>6.12 ・岐阜工場に総合ビルが竣工</p> <p>6.一 ・石川県小松市向けごみ焼却施設(小松市クリーンセンター55t/日×2基)を納入</p> <p>6.一 ・ABBグループと共同で世界初のロボットインターフェースを開発</p> <p>7.6 ・フィリピンの現地法人「Kawasaki Motors (Phils.) Corporation」で50周年記念式典を開催</p> <p>7.一 ・アニメーション映画「未来のミライ」に登場する鉄道車両のデザイン協力</p>	<p>6.12 ・初の米朝首脳会談、シンガポールで開催</p> <p>6.13 ・18歳を成人とする改正民法成立(22.4.1施行)</p> <p>6.29 ・高度プロフェッショナル制度などを設ける働き方改革関連法成立</p> <p>7.20 ・カジノを含む統合型リゾート実施法成立</p> <p>9.8 ・テニス全米オープンで大坂なおみ選手が優勝</p> <p>10.6 ・東京、築地市場が83年の歴史に幕(10.11豊洲に移転)</p> <p>11.12 ・アメリカ・大リーグの大谷翔平選手が最優秀新人に</p> <p>12.8 ・外国人労働者受け入れを拡大する改正出入国管理法が成立(19.4.1施行)</p> <p>12.1 ・BS・CS放送で4K、8Kの家庭向け放送開始</p> <p>12.30 ・環太平洋パートナーシップ協定(TPP)発効</p>

当世事項	一般事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>7.一 ・多用途四輪車「MULE PRO-MX」シリーズを発売</li> <li>7.一 ・5MW級で世界最高効率(発電効率32.6%)のガスタービン「M5A」を用いたコージェネレーションシステムの初号機をイビデンへ納入</li> <li>8.15 ・ボンベビルスピードウィークで「Ninja H2」が世界最高速度記録を樹立</li> <li>10.5 ・世界最大出力のセメント排熱発電設備(出力最大43,500kW)を韓国・双龍セメント向けに納入</li> <li>10.11 ・ロボット事業、創業50周年</li> <li>10.一 ・護衛艦30FFM向け新型ガスタービン主機MT30と推進システムを受注</li> <li>11.6 ・二輪車「VERSYS 1000/VERSYS 1000 SE」を発売</li> <li>11.14 ・神戸市交通局向け西神・山手線用6000形電車を納入</li> <li>11.14 ・「川崎レックスペラ」累計生産1,000台を達成</li> <li>12.20 ・「Z900RS」が日本バイク・オブ・ザ・イヤー2018(大賞)を受賞</li> <li>12.一 ・機関車製造累計5,000両を達成</li> </ul>	
<p>2019[平成31][令和元年]</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>1.15 ・ウォータークラフト「JET SKI STX 160」シリーズを発売</li> <li>1.18 ・ベトナムで二輪車の輸入販売を行う現地法人「Kawasaki Motors Vietnam Co., Ltd.」を設立</li> <li>2.1 ・大型LNG運搬船向けLPG焚き二元燃料機関ME-LGIPエンジンを初受注</li> <li>2.1 ・自律型無人潜水機(AUV)の販売・アフターサービスを行う現地法人「Kawasaki Subsea (UK) Limited」を設立</li> <li>3.1 ・当社初の二元燃料電気推進LNG運搬船「PACIFIC BREEZE」引渡し</li> <li>3.1 ・中国の大連中遠海運川崎船舶工程有限公司(DACKS)で第2ドックが完成、800tクレーン2基を装備、長さ550m、幅68m</li> <li>3.18 ・潜水艦「しょうりゅう」引渡し</li> <li>3.28 ・岐阜工場に航空機研究開発用の低速低騒音風洞が竣工</li> <li>3.一 ・大阪府高槻市向けごみ焼却施設(高槻クリーンセンター第三工場150t/日×1基)を納入</li> <li>3.一 ・福島県須賀川地方保健環境組合向けごみ焼却施設(須賀川地方衛生センター47.5t/日×2基)を納入</li> <li>4.1 ・タイのバンコク事務所を現地法人化し「Kawasaki Heavy Industries, (Thailand) Co., Ltd.」を設立(バンコク事務所廃止)</li> <li>4.4 ・当社、本田技研工業、スズキ、ヤマハ発動機の4社は日本国内における電動二輪車の普及を目的とした「電動二輪車用交換式バッテリーコンソーシアム」を創設</li> <li>4.16 ・欧州の現地法人「Kawasaki Motors Europe N.V.」はイタリアにBimota(ビモータ)ブランドの二輪車を製造販売するための「Italian Motorcycle Investment S.p.A.」を設立、2000年「Bimota S.p.A.」に社名変更</li> <li>春.一 ・二輪車「W800」を発売</li> <li>6.28 ・トルクメニスタンの国営公社トルクメンガス向け世界最大のガス・ツー・ガソリン(GTG)製造設備を納入</li> <li>7.19 ・オーストラリア・ビクトリア州ヘイスティングスで水素液化・積荷基地の起工式を挙行</li> <li>7.28 ・鈴鹿8時間耐久ロードレースでカワサキのファクトリーチーム「Kawasaki Racing Team」が26年ぶり優勝、世界耐久選手権で「Team SRC Kawasaki France」がシリーズチャンピオンを獲得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2.22 ・JAXAの探査機「はやぶさ2」が小惑星リュウグウへの着陸に成功</li> <li>3.27 ・2019年度予算が成立、初めて100兆円を超える</li> <li>4.10 ・国際研究グループがブラックホールの画像撮影に成功したと発表</li> <li>4.15 ・フランスのノートルダム大聖堂で大規模な火災が発生、尖塔が焼け落ちる</li> <li>5.1 ・皇太子徳仁親王殿下が天皇に即位、令和と改元</li> <li>8.4 ・ゴルフの全英女子オープンで渋野日向子選手が優勝</li> <li>9.20 ・ラグビー・ワールドカップ日本大会開幕、日本チームが初めて8強入りを果たす</li> <li>10.1 ・消費税率引き上げ、8%から10%に</li> <li>10.31 ・那覇市の首里城で火災が発生、正殿、北殿、南殿など主要な建物が全焼</li> <li>11.23 ・フランシスコ・ローマ教皇が来日(教皇の来日は38年ぶり)</li> <li>12.一 ・中国武漢市で新型コロナウイルスによる集団感染が発生、以降全世界に広がる</li> </ul>

当社事項	一般事項
<p>10.7 ・オフロード四輪車「TERYX KRX 1000」を発売</p> <p>10.15 ・二輪車「KLX230」とオフロード専用「KLX230R」を発売</p> <p>11.1 ・ロールス・ロイス社向けIPCモジュール累計2,000台納入達成</p> <p>11.ー ・オプティムと精密機械・ロボット分野のAI・IoT活用において業務提携</p> <p>12.11 ・世界初、液化水素運搬船「すいそ ふろんていあ」が進水</p> <p>12.16 ・ボーイング787型機の1,000号機用前部胴体が完成</p> <p>12.ー ・国内メーカー初の商用化に向けた新型水素液化機の実証試験を開始</p>	
<p>2020[令和2]年</p>	
<p>1.6 ・Z2/Z1エンジン部品(シリンダーヘッド)を再生産</p> <p>2.1 ・カワサキモーターズジャパンの国内汎用エンジン販売事業を三菱重工メイキエンジンに事業譲渡</p> <p>4.1 ・川重ファシリテックは、駒井ハルテックと国内鉄構工事事業を共同事業化、KHファシリテックの株式の66.6%を駒井ハルテックに譲渡</p> <p>6.19 ・業界トップクラスの液化効率を有する国内メーカー製初の水素液化機の販売を開始</p> <p>6.25 ・社長 金花芳則、会長に就任、副社長 橋本康彦、17代社長に就任</p> <p>8.7 ・国産初、手術支援ロボットシステム「hinotori™ サージカルロボットシステム」が製造・販売承認を取得</p> <p>8.20 ・クロスカントリー専用二輪車「KX250XC」「KX450XC」を国内発売</p> <p>8.ー ・東京都青海埠頭向けに日本最大級の船舶用ボーディングブリッジ2基を納入</p> <p>9.10 ・二輪車「Ninja ZX-25R」を発売</p> <p>9.11 ・企業ミュージアム「カワサキワールド」が入館者300万人を達成</p> <p>9.30 ・25年ぶり建造の超高速旅客船「セブンアイランド結(ゆい)」引渡し</p> <p>9.31 ・わが国初のLNGパンカリング船「かぐや」引渡し</p> <p>9.ー ・静岡県富士市向けごみ焼却施設(富士市新環境クリーンセンター125t/日×2基)を納入</p> <p>10.6 ・無人コンパウンド・ヘリコプタ「K-RACER」の飛行試験に成功</p> <p>10.8 ・世界初のゼロエミッション電気推進タンカー向け大容量バッテリー推進システムを受注</p> <p>10.17 ・カワサキレーシングチームのジョナサン・レイ選手がスーパーバイク世界選手権で史上初の6連覇を達成、シリーズ年間優勝最多記録を樹立</p> <p>10.30 ・クラス最高となる発電効率51.0%の新型ガスエンジンを初受注</p> <p>11.2 ・2030年に目指す将来像として、グループビジョン2030「つぎの社会へ、信頼のこたえを ~ Trustworthy Solutions for the Future ~」を制定</p> <p>11.23 ・AI(人工知能)を活用したライダーサポートシステム～RIDEOLGY THE APP～スマートフォン向けアプリ開発</p> <p>11.23 ・二輪車「Ninja ZX-10R/10RR」を発表</p> <p>12.1 ・二輪車「Z H2」を発売</p> <p>12.14 ・再生可能エネルギーを由来とする電力から水素を製造・液化して、液化水素運搬船で日本へ輸入し、供給・配送するまでの一連の液化水素サプライチェーンの事業化に向けた検討を開始</p>	<p>1.31 ・イギリスが欧州連合(EU)を離脱</p> <p>3.11 ・世界保健機関(WHO)は新型コロナウイルスの感染拡大についてパンデミック(世界的流行)状態と宣言</p> <p>3.24 ・新型コロナウイルスの世界的流行に伴い、東京オリンピック、パラリンピックの延期が決定</p> <p>4.7 ・安倍首相は改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言を発令</p> <p>5.31 ・アメリカ・スペースXの新型宇宙船「クルードラゴン」打ち上げ成功、民間初の有人宇宙船として国際宇宙ステーションにドッキング</p> <p>6.23 ・スーパーコンピュータ富岳が4部門で世界ランキング1位を獲得</p> <p>7.1 ・改正容器包装リサイクル法の施行によりプラスチック製レジ袋が有料化</p> <p>9.15 ・イスラエルと、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーンが国交正常化の合意文書に署名</p> <p>11.15 ・日中韓やASEAN加盟国など15カ国が地域的な包括的経済連携(RCEP)協定に署名</p> <p>12.6 ・小惑星探査機「はやぶさ2」の回収カプセルが地球に帰還</p> <p>一.ー ・テレワークを導入する企業が急増</p>
<p>2021[令和3]年</p>	
<p>2.1 ・二輪車「MEGURO K3」を発表</p> <p>4.1 ・原子力事業をアトックスに譲渡</p>	<p>1.20 ・アメリカ大統領にジョー・バイデン氏が就任</p> <p>2.17 ・国内で新型コロナウイルスのワクチン接種開始</p>

当社事項	一般事項
<p>4.1 ・低炭素・カーボンフリーな電力を取り扱う事業会社カワサキグリーンエナジー(株)を設立</p> <p>5.一 ・「川崎MAGターボ」納入累計200台を達成</p> <p>8.31 ・わが国初のLPG燃料LPG運搬船「CRYSTAL ASTERIA」引渡し</p> <p>9.30 ・天然ガス専焼エンジンとバッテリーを組み合わせたハイブリッド推進システムを内航石灰石運搬船向けに受注</p> <p>夏.一 ・二輪車「KLR650」を発売</p> <p>10.1 ・当社より車両事業を分社、川崎車両(株)が事業開始</p> <p>10.1 ・当社よりモーターサイクル&amp;エンジン事業を分社、カワサキモーターズ(株)が事業開始</p> <p>10.1 ・当社と日立造船は、シールドマシン事業の合弁会社「地中空間開発(株)」を設立、営業を開始</p>	<p>4.11 ・男子ゴルフの松山英樹選手がマスターズ・トーナメントで優勝、日本男子のメジャー大会制覇は史上初</p> <p>4.22 ・菅首相が気候変動サミットで日本の2030年の温室効果ガス排出削減目標について2013年度比で46%削減を目指すことを表明</p> <p>7.23 ・東京オリンピック開幕(~8.8)、新型コロナ対策のため無観客で開催、日本はメダル総数58(金27)個で史上最多記録</p> <p>8.24 ・東京パラリンピック開幕(~9.5)、日本は過去2番目のメダル総数51(金13)を獲得</p> <p>9.1 ・デジタル庁発足</p>